

2 3 精神医療センター第7病棟（医療観察法病棟）ヒートポンプ型空調設備改修工事 （1期工事）

（工事名称はすべて上記名称に読み替えるものとする）

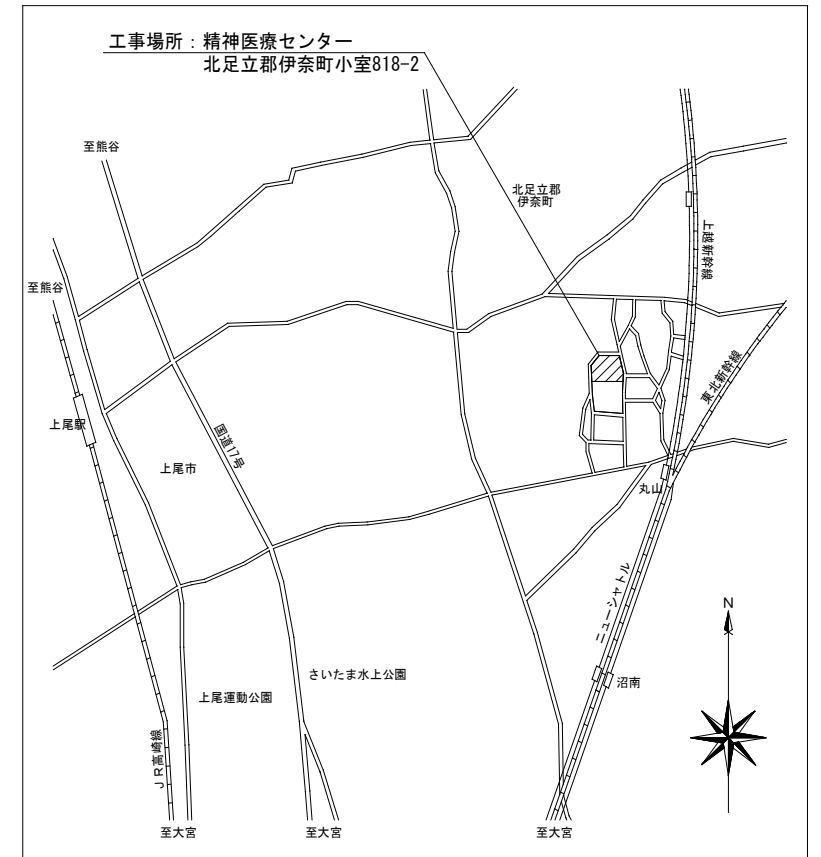
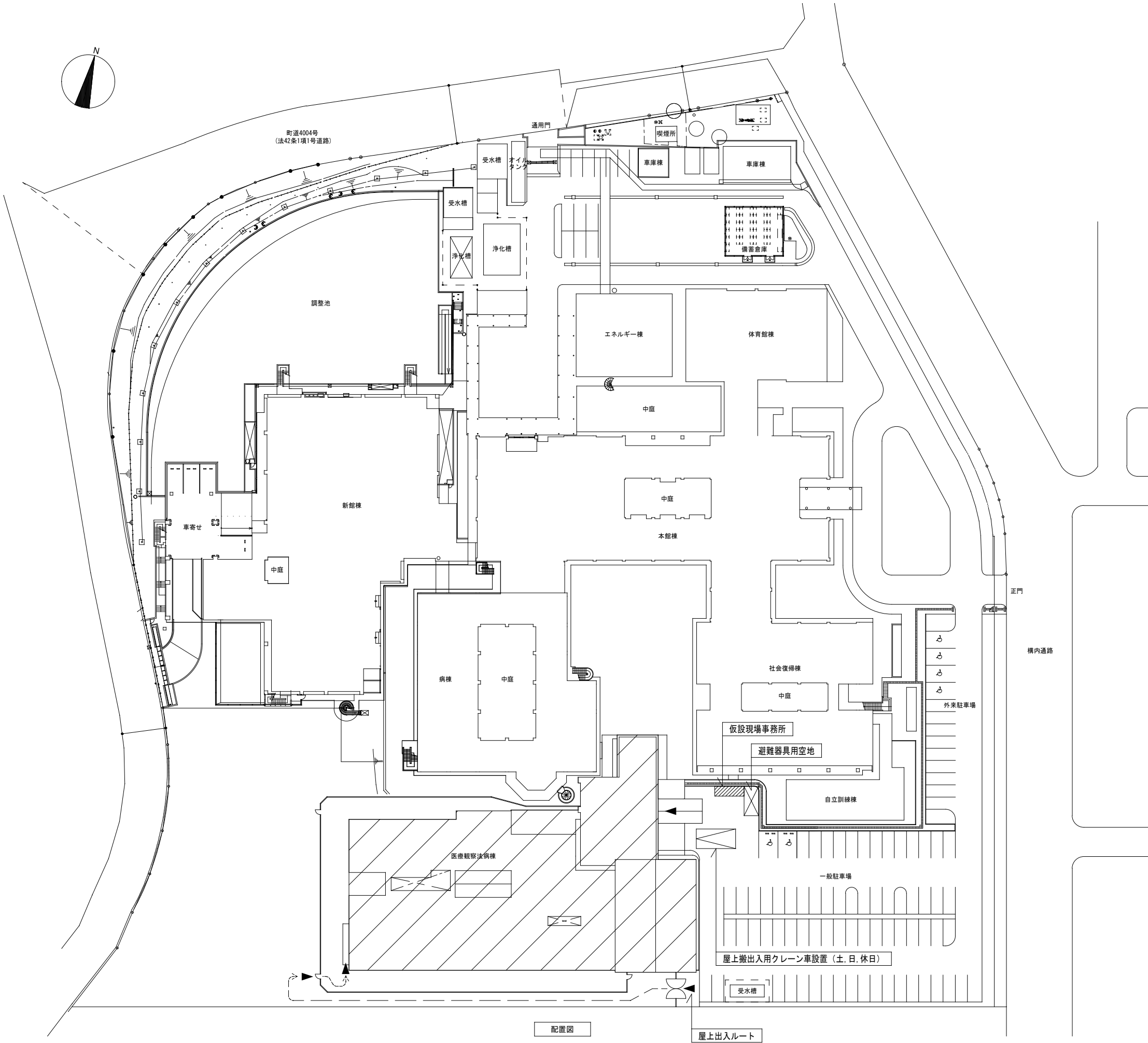
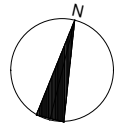
図面番号	図面名称	
M-	1	機械設備工事特記仕様書（1）
	2	機械設備工事特記仕様書（2）
	3	案内・配置図
	4	空調機器表1（改修後）
	5	空調機器表2（改修後）
	6	空調機器表3（改修後）
	7	空調機器表4（改修後）
	8	空調機器表1（改修前・撤去）
	9	空調機器表2（改修前・撤去）
	10	工事概要、屋内工事工程案
	11	工事工程表案
	12	空調配管設備 系統図
	13	1階 空調機器更新図
	14	2階 空調機器更新図
	15	2階 屋外機置場詳細図（改修後、撤去）
	16	空調ダクト設備 系統図
	17	1階 空調機ダクト更新図
	18	1階 自動制御設備更新図（現況）
	19	2階 自動制御設備更新図（現況）
	20	R階 自動制御設備更新図（現況）

図面番号	図面名称	
M-	21	自動制御設備 凡例詳細図（既存）
	22	1階 回復期ユニット 天井伏せ改修図
	23	1階 社会復帰期ユニット 天井伏せ改修図
	24	天井内隠ぺい空調機 改修パターン図（1）
	25	天井内隠ぺい空調機 改修パターン図（2）
	26	1階 仮設計画図
	27	2階 仮設計画図
	28	R階 仮設計画図
E-	1	電気設備工事特記仕様書
	2	案内・配置図
	3	空調電源設備 工事概要
	4	1階 空調電源設備図（現況）
	5	2階 空調電源設備図（現況）
	6	R階 空調電源設備図（現況）
	7	2、R階 空調電源設備 屋上詳細図（改修後、撤去）
	8	1階 回復期ユニット 天井伏せ改修図
	9	1階 社会復帰期ユニット 天井伏せ改修図

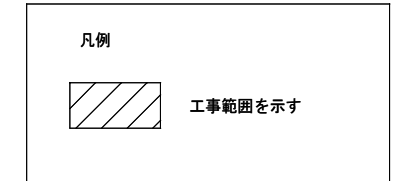
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部

	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部					

● 空気調和設備	<p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（(一財)日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>⑩ 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転制御 ・ オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R 4 1 0 A、R 3 2 又はR 4 0 7 C) (注1) R 4 1 0 Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R 3 2を採用した場合、冷媒配管の新熱材被覆配管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>12 振音装置</p> <p>13 そ の 他</p>	<p>2 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・ 満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用 別紙樹表による。</p>																																																															
					<p>1 配管材料</p> <p>2 絶縁フランジ</p> <p>3 弁 類</p> <p>4 ガス瞬間湯沸器</p> <p>5 電気給湯器</p>	<p>1 配管材料</p> <p>2 絶縁フランジ</p> <p>3 弁 類</p> <p>4 ガス瞬間湯沸器</p> <p>5 電気給湯器</p>																																																													
	<p>① 設計温湿度</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">一 般 系 統</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。 ※空調機器表1～4 (改修後)に記載のとおり</p> <p>※本工事・別途 風量調整 ※する ・ しない 水量調整 ・ する ※しない 騒音の測定 ○する ※しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ・ しない 室内気流及びじんあいの測定 ・ する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・ しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ○する ※しない</p>	外 気		一 般 系 統				屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	℃	%	冬 期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	℃	%	<p>1 長方形ダクト</p> <p>2 円形ダクト</p> <p>3 風量測定口</p> <p>4 チャンパー</p> <p>5 ダンパー</p> <p>6 多湿箇所排気ダクト</p> <p>7 保 温</p> <p>8 試運転調整</p>	<p>○給水設備</p> <p>○給湯設備</p> <p>○消火設備</p> <p>○ガス設備</p> <p>○厨房設備</p> <p>○排水設備</p>	<p>1 配管材料</p> <p>2 ガス漏れ警報遮断装置</p> <p>3 液化石油ガスの供給権</p> <p>1 厨房機器の固定</p> <p>2 シンク用水栓</p> <p>3 安全装置の機能の適用</p> <p>1 配管材料</p> <p>2 ガス漏れ警報遮断装置</p> <p>3 液化石油ガスの供給権</p> <p>1 厨房機器の固定</p> <p>2 シンク用水栓</p> <p>3 安全装置の機能の適用</p>	<p>1 配管材料</p> <p>2 ガス漏れ警報遮断装置</p> <p>3 液化石油ガスの供給権</p> <p>1 厨房機器の固定</p> <p>2 シンク用水栓</p> <p>3 安全装置の機能の適用</p>																						
	外 気		一 般 系 統				屋 内																																																												
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																									
	夏 期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	℃	%																																																									
	冬 期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	℃	%																																																									
	<p>3 煙 道</p> <p>4 煙 突</p> <p>5 長方形ダクト</p> <p>6 円形ダクト</p> <p>7 風量測定口</p> <p>8 チャンパー</p> <p>9 吹出口及び吸込口ボックス</p> <p>10 ダンパー</p> <p>⑪ 配管材料</p> <p>12 弁 類</p> <p>13 温 度 計</p> <p>14 圧 力 計</p> <p>15 瞬間流量計</p> <p>16 油面制御装置</p> <p>17 冷却塔</p>	<p>(1) 鉄板厚 (※3.2mm・4.5mm)</p> <p>(2) ばい煙濃度計 ※設ける ・ 設けない</p> <p>(3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は8φとする) ・ 設けない</p> <p>※別途 ・ 本工事</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製) ・ 硬質塩化ビニル管 (V U) ・ 換気用耐火二層管 (大巨認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・ 保温無) (注)1 使用区分は図示による。</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取込ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取付けするサプライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付け付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>※亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>(1) 冷水水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ (3) ブライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・ 10以上 液管 ・ 20以上 ※10以上)</p> <p>(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・ 硬質塩化ビニル管 V P ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (XHD/ACT/UN/PA 相当品) ・ 耐火二層管 V P (F D P S - 1) ・ 配管用炭素鋼管 (白) ・ 硬質塩化ビニル管 V P (消防協議事項: ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・</p> <p>規格は J I S 又は J V とし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷水水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷水水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンパー、レタンダクト、外気取込ダクト及びレタンチャンパー ※冷水水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷水水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷水水管 (出入口共) ※冷水水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・ 個) 付属とする。 ・熱源機器の冷水水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 ・空気調和機の冷水水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。</p> <p>※往又は還どちらかの冷水水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 制御盤には (※給油ポンプ制御 ※減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロースイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。</p> <p>※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。</p>	<p>※垂直ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製) ・ 硬質塩化ビニル管 (V U) ・ 耐火二層換気管又は耐火V P ※フレキシブルダクト (・保温付 ・ 保温無) (注)1 使用区分は図示による。</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取込ダクト</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付け付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留し (1) ない防煙ダクトを有する。 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下</p> <p>(2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下配箇所は硬質塩化ビニル管 (V U) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火V P) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける</p> <p>下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・(ロ)・X1とする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・ 湯沸室 ・) 用の隠蔽ぺい部ダクト (仕様はh・(イ)・IXとし範囲は図示による)</p> <p>風量調整 ※する ・ しない 風量測定 ※する ・ しない 騒音の測定 ・ する ※しない</p> <p>※亜鉛鉄板 ・ ※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形)</p> <p>開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・ 電気式 (遠隔操作 ・ 不要 ・ 要)</p> <p>建築設備定期検査業務基準書 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。</p> <p>○有り ※無し 図示による 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。</p> <p>・小便器 ※全部ストール形 ・ 一部ストール形 手すり (・本工事 ※別途工事) ・洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・ レバー式水栓 (一部) ・シャワー ※サーモスタット式 ・ ミキシング式 ※スライドバー ・ フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800 (耐食鏡) ・ 傾斜鏡 (照明無 ・ 照明付)</p> <p>(1) 器具付属止水栓は ※ドライパー式 ・ ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。</p> <p>※AC100V ・ 乾電池等 ・ 自己発電</p> <p>(1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・ 温風乾燥 ・ トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・ 貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・ AC100V ・ 乾電池等 ※自己発電</p> <p>器具表又は下記の場合を除き、※節水I型 ・ 節水II型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式 (※センサー式・タッチスイッチ式) ・ ・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p> <p>※設ける (ピット内は除く) ・ 設けない</p> <p>※共栓なしとする。 ・ 共栓付とする。</p> <p>※使用できる ・ 使用できない</p> <p>大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。 せっけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗い器に設ける。</p>	<p>1 配管材料</p> <p>2 一体形タンク</p> <p>3 水 栓</p> <p>4 量 水 器</p> <p>5 量水器樹</p> <p>6 弁 類</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>8 建物導入部配管</p> <p>9 検針方法</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>11 本管取出し</p> <p>1 配管材料</p> <p>2 一体形タンク</p> <p>3 水 栓</p> <p>4 量 水 器</p> <p>5 量水器樹</p> <p>6 弁 類</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>8 建物導入部配管</p> <p>9 検針方法</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>11 本管取出し</p>	<p>配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シダー内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (水道直結部分)</td> <td>※H I V P ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※H I V P ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td>県営住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P S内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シダー内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※H I V P ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P S内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注)1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWMA G 115に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮 ・ ヴァルブ) ※拡張部 使用・廊下流し廻り露出配管 (※給管) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、該接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用柵を設ける。 5. 口径2.5Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。</p> <p>一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>※給湯用水栓を除き大きさの呼び1.3の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>※観メーター (※賞品 ・) ・ 子メーター (※買取り ・)</p> <p>※水道事業者指定品 ・ 標準図MC形</p> <p>規格は J I S 又は J V とし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>・防寒コンクリート水栓柱 (1200L) ※不凍給水栓</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・(a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事者と調整のうえ施工すること。</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p> <p>配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※SGP (白) ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RS-V U 又はリサイクルV U ・ V U</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>※卵形管 (ゴム輪接合) ・ R E P - V U (軽荷重の場合) ・ R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P</td> </tr> <tr> <td>通気配管</td> <td>耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルV P 又はRF-V P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注)1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管 RF-V P、RS-V U又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水用は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はV4.5度で行う。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	地中埋設部 (水道直結部分)	※H I V P ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・	地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)	便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	湿潤シダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・	便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P	厨房等の温排水	※SGP (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ SGP (白)	その他の部分	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	その他の部分	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS-V U 又はリサイクルV U ・ V U	共通	※卵形管 (ゴム輪接合) ・ R E P - V U (軽荷重の場合) ・ R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ SGP (白)	その他の部分	※リサイクルV P 又はRF-V P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
	施 工 箇 所	管 種 別																																																																	
	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ ポリブテン管																																																																	
	ウエット厨房、浴室等の湿潤シダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管																																																																	
	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD																																																																	
	地中埋設部 (水道直結部分)	※H I V P ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・																																																																	
	地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・																																																																	
	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)																																																																	
	便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																	
	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																	
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																		
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管																																																																		
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管																																																																		
湿潤シダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管																																																																		
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD																																																																		
地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・																																																																		
便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																		
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																		
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																		
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管																																																																		
施 工 箇 所	管 種 別																																																																		
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P																																																																		
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																																		
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ SGP (白)																																																																		
その他の部分	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																		
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P																																																																		
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																		
その他の部分	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																		
地中埋設部	※RS-V U 又はリサイクルV U ・ V U																																																																		
共通	※卵形管 (ゴム輪接合) ・ R E P - V U (軽荷重の場合) ・ R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P																																																																		
通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ SGP (白)																																																																		
その他の部分	※リサイクルV P 又はRF-V P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																		
設計年月日	R05.03.20	地方独立行政法人埼玉県立病院機構本部	本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名	図面番号																																																								
									精神医療センター第7病棟 (医療観察病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事 (1期工事)	機械設備工事特記仕様書 (2)	M - O 2																																																								



案内図



*作業員用駐車場は、打合わせによる

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第1C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	精神医療センター第7病棟（医療観察病棟） ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事（1期工事）	設計図	図面番号
	R05年03月20日		栗木	栗木	佐藤 大谷		図面名	案内・配置図	縮尺	A 1 : 400 A 3 1 : 800

空調機器表 1 (改修後)

※本工事は、1期工事と記載されている範囲を工事対象とする (以降の図面についても同様とする)

図面記号	名称	系統	仕様	相電圧(V)	消費電力(kW)	台数	1期工事	2期工事	3期工事	設置階	設置室名	参考寸法	重量	備考、参考機種
EHP-1	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1F管理	高効率型 冷房能力 45.0kW 暖房能力 50.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房12.9 暖房12.4	1		○	3	屋上	1870x740x1650H	370	既存基礎利用 PUHY-RP450DMG9-E
EHP-1-1	ビルマルチ パッケージ室内機	エントランスルーム	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○	1	エントランスルーム			
EHP-1-2	ビルマルチ パッケージ室内機	面会室1,2	天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW 風量 510m3/h 機外静圧 85Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	2		○	1	面会室1,2			
EHP-1-3	ビルマルチ パッケージ室内機	守衛室	天吊り隠蔽カセット型二方向吹 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.2kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○	1	守衛室			
EHP-1-4	ビルマルチ パッケージ室内機	スタッフルーム	天吊り隠蔽カセット型四方向吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.02	2		○	1	スタッフルーム			
EHP-1-5	ビルマルチ パッケージ室内機	業務管理室	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.04	1		○	1	業務管理室			
EHP-1-6	ビルマルチ パッケージ室内機	仮眠室1,2	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	2		○	1	仮眠室1,2			
EHP-1-7	ビルマルチ パッケージ室内機	更衣室1,2	天吊り隠蔽カセット型二方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	2		○	1	更衣室1,2			
EHP-1-8	ビルマルチ パッケージ室内機	カフェラウンジ室1	天吊り隠蔽カセット型四方向吹 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.02	2		○	1	カフェラウンジ室1			
EHP-1-9	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下	天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW 風量 840m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.19	1		○	1	廊下			
EHP-2	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1F共用ユニット	高効率型 冷房能力 28.0kW 暖房能力 31.5kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房9.30 暖房8.84	1		○	2	屋上	920x740x1650H	197	既存基礎利用 PUHY-RP280DMG9
EHP-2-1	ビルマルチ パッケージ室内機	心理面接室	天吊り隠蔽カセット型四方向吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.02	1		○	1	心理検査室			
EHP-2-2	ビルマルチ パッケージ室内機	理・美容室	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○	1	理・美容室			
EHP-2-3	ビルマルチ パッケージ室内機	談話室兼食堂	天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW 風量 1,020m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.19	1		○	1	談話室兼食堂			
EHP-2-4	ビルマルチ パッケージ室内機	個室D1~D5	天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	5		○	1	廊下			
EHP-2-5	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下	天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.2kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	1		○	1	倉庫2、汚物処理室			
EHP-2-6	ビルマルチ パッケージ室内機	乾燥M	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○	1	乾燥M			
EHP-2-7	ビルマルチ パッケージ室内機	乾燥W	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○	1	乾燥W			
EHP-2-8	ビルマルチ パッケージ室内機	脱衣室	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○	1	脱衣室			

温度条件 室内 夏 DB26°C WB19°C 冬 DB20°C 室外 夏 DB34.3°C 冬 DB7°C WB6°C
冷媒管、ドレン管、制御配線、リモコン配線、室内機電源配線は、取外し、再接続とする。
室内機には、全て防振ハンガー取付

概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤	大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(1期工事)	設計図 図面名 空調機器表1(改修後)	縮尺 A1 1:NON A3 1:NON	図面番号 M-04
----	---------------------	-------	----------	----------	----------	----	---	--	---------------------------	----------------------------	--------------

空調機器表2 (改修後)

図面記号	名称	系統	仕様	相電圧(V)	消費電力(kW)	台数	1期工事	2期工事	3期工事	設置階	設置室名	参考寸法	重量	備考、参考機種
EHP-3	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1F急性期ユニット	高効率型 冷房能力 45.0kW 暖房能力 50.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房12.9 暖房12.4	1		○	2	屋上	1870x740x1650H	370	既存基礎利用 PUHY-RP450DMG9-E
EHP-3-1	ビルマルチ パッケージ室内機	相談室	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	1		○	1	相談室			
EHP-3-2	ビルマルチ パッケージ室内機	診察室1,2	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW 風量 630m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.13	2		○	1	診察室1,2			
EHP-3-3	ビルマルチ パッケージ室内機	内省室和室	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	1		○	1	内省室和室			
EHP-3-4	ビルマルチ パッケージ室内機	談話室兼食堂	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW 風量 1,140m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.24	1		○	1	談話室兼食堂			
EHP-3-5	ビルマルチ パッケージ室内機	談話室	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○	1	談話室			
EHP-3-6	ビルマルチ パッケージ室内機	保護室1,2	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.2kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	2		○	1	廊下			
EHP-3-7	ビルマルチ パッケージ室内機	個室A1~A4	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	4		○	1	廊下			
EHP-3-8	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW 風量 840m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.19	1		○	1	廊下			
EHP-3-9	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW 風量 630m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.13	1		○	1	廊下			
EHP-3-10	ビルマルチ パッケージ室内機	乾燥	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○	1	乾燥			
EHP-3-11	ビルマルチ パッケージ室内機	脱衣室	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1		○	1	脱衣室			

温度条件 室内 夏 DB26℃ WB19℃ 冬 DB20℃ 室外 夏 DB34.3℃ 冬 DB7℃ WB6℃
冷媒管、ドレン管、制御配線、リモコン配線、室内機電源配線は、取外し、再接続とする。
室内機には、全て防振ハンガー取付

概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限 会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 千 360-0824 熊谷 市 見 塚 町 3 番 地 TEL 048-521-6300 高 崎 千 370-0862 高 崎 市 片 岡 町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟 (医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事 (1期工事)	設計図 図面名 空調機器表2 (改修後)	縮尺 A 1 1 : NON A 3 1 : NON	図面番号 M - 05
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--	--	----------------------------	----------------------------------	----------------

空調機器表3 (改修後)

図面記号	名称	系統	仕様	相電圧(V)	消費電力(kW)	台数	1期工事	2期工事	3期工事	設置階	設置室名	参考寸法	重量	備考、参考機種
EHP-4	更新用ヒールマルチパッケージ 室外機	1F社会復帰ユニット	高効率型 冷房能力 40.0kW 暖房能力 45.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房13.4 暖房12.5	1	○		2	屋上	1220x740x1650H	247	既存基礎利用 PUHY-RP400DMG9-E
EHP-4-1	ヒールマルチパッケージ 室内機	談話室兼食堂	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW 風量 1,020m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.19	1	○		1	談話室兼食堂			
EHP-4-2	ヒールマルチパッケージ 室内機	談話室	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW 風量 630m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.13	1	○		1	談話室			
EHP-4-3	ヒールマルチパッケージ 室内機	個室C1~C7	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	7	○		1	廊下			
EHP-4-4	ヒールマルチパッケージ 室内機	個室C8	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.2kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	1	○		1	廊下			
EHP-4-5	ヒールマルチパッケージ 室内機	退院訓練室	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1	○		1	退院訓練室			
EHP-4-6	ヒールマルチパッケージ 室内機	廊下	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW 風量 840m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.19	1	○		1	廊下			
EHP-5	更新用ヒールマルチパッケージ 室外機	1F回復期ユニット	高効率型 冷房能力 45.0kW 暖房能力 50.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房12.9 暖房12.4	1	○		2	屋上	1870x740x1650H	370	既存基礎利用 PUHY-RP450DMG9-E
EHP-5-1	ヒールマルチパッケージ 室内機	談話室兼食堂	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 9.0kW 暖房能力 10.0kW 風量 1,320m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.29	1	○		1	談話室兼食堂			
EHP-5-2	ヒールマルチパッケージ 室内機	談話室	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.0kW 風量 630m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.13	1	○		1	談話室			
EHP-5-3	ヒールマルチパッケージ 室内機	個室B1~B13, 静養室	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW 風量 510m3/h 機外静圧 50Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.09	14	○		1	廊下			
EHP-5-4	ヒールマルチパッケージ 室内機	廊下	天吊埋込ダクト吹 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW 風量 840m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.19	1	○		1	廊下			
EHP-5-5	ヒールマルチパッケージ 室内機	脱衣室	天吊り隠蔽カセット型一方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1	○		1	脱衣室			

温度条件 室内 夏 DB26℃ WB19℃ 冬 DB20℃ 室外 夏 DB34.3℃ 冬 DB7℃ WB6℃
冷媒管、ドレン管、制御配線、リモコン配線、室内機電源配線は、取外し、再接続とする。
室内機には、全て防振ハンガー取付

概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(1期工事)	設計図 図面名 空調機器表3(改修後)	縮尺 A1 1:NON A3 1:NON	図面番号 M-06
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	---	--	---------------------------	----------------------------	--------------

空調機器表4 (改修後)

図面記号	名称	系統	仕様	相	電圧(V)	消費電力(kW)	台数	1期工事	2期工事	3期工事	設置階	設置室名	参考寸法	重量	備考、参考機種
EHP-6	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1Fスタッフステーション	高効率型 冷房能力 22.4kW 暖房能力 25.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房6.32 暖房6.21	1	○			2	屋上	920x740x1650H	185	既存基礎利用 PUHY-RP224DMG9
EHP-6-1	ビルマルチ パッケージ室内機	スタッフステーション1	天吊り隠蔽カセット型四方向吹 冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	2	○			1	スタッフステーション1			
EHP-6-2	ビルマルチ パッケージ室内機	スタッフステーション2	天吊り隠蔽カセット型四方向吹 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.02	2	○			1	スタッフステーション2			
EHP-7	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1Fatrium	高効率型 冷房能力 22.4kW 暖房能力 25.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房6.32 暖房6.21	1	○			2	屋上	920x740x1650H	185	既存基礎利用 PUHY-RP224DMG9
EHP-7-1	ビルマルチ パッケージ室内機	atrium	天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 11.2kW 暖房能力 12.5kW 風量 1.980m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.49	2	○			1	atrium			
EHP-8	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	2F諸室	高効率型 冷房能力 28.0kW 暖房能力 31.5kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房9.30 暖房8.84	1			○	3	屋上	920x740x1650H	197	既存基礎利用 PUHY-RP280DMG9
EHP-8-1	ビルマルチ パッケージ室内機	集団精神療法室1.2	天吊り隠蔽カセット型四方向吹 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.02	2			○	2	集団精神療法室1.2			
EHP-8-2	ビルマルチ パッケージ室内機	防音活動室	天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW 風量 1.020m3/h 機外静圧 100Pa ドレンアップ、後吸込用フィルターボックス、エアフィルター付	1	200	0.19	1			○	2	倉庫7			
EHP-8-3	ビルマルチ パッケージ室内機	作業療法室	天吊り隠蔽カセット型四方向吹 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.02	2			○	2	作業療法室			
EHP-8-4	ビルマルチ パッケージ室内機	情報管理室	天吊り隠蔽カセット型二方向吹 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.5kW ドレンアップ、ロングライフフィルター付	1	200	0.03	1			○	2	情報管理室			
EHP-9	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1F屋内運動場	高効率型 冷房能力 56.0kW 暖房能力 63.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房17.5 暖房21.5	1			○	2	屋上	1750x765x1660H	348	既存基礎利用 RQYP560FC
EHP-9-1	ビルマルチ パッケージ室内機	屋内運動場	壁ビルトイン下吹出型 冷房能力 28.0kW 暖房能力 31.5kW 風量 4.800m3/h 機外静圧 100Pa ロングライフフィルター付、防振架台、個別リモコンとも	1	200	1.49	2			○	1	屋内運動場	1515x500x2000H	223	既存基礎利用 リモコンスイッチ本体側面取付 既存全熱交換器集中リモコン接続済
OEHP-1	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1F管理、2F外気処理	高効率型 冷房能力 45.0kW 暖房能力 50.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房12.9 暖房12.4	1			○	3	屋上	1870x740x1650H	370	既存基礎利用 PUHY-RP450DMG9-E
OEHP-1-1	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下	全外気処理 天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 22.4kW 暖房能力 21.2kW 風量 1.680m3/h 機外静圧 200Pa ドレンアップ、フィルターボックス、ロングライフフィルター	3	200	0.32	1			○	1	業務管理室			
OEHP-1-2	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下	全外気処理 天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 14.0kW 暖房能力 13.2kW 風量 840m3/h 機外静圧 130Pa ドレンアップ、フィルターボックス、ロングライフフィルター	1	200	0.21	1			○	2	廊下			
OEHP-2	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1F急性期、共用外気処理	高効率型 冷房能力 50.0kW 暖房能力 56.0kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房15.2 暖房14.8	1			○	2	屋上	1870x740x1650H	382	既存基礎利用 PUHY-RP500DMG9
OEHP-2-1	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下	全外気処理 天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 14.0kW 暖房能力 13.2kW 風量 840m3/h 機外静圧 130Pa ドレンアップ、フィルターボックス、ロングライフフィルター、温度センサー付	1	200	0.21	1			○	1	廊下			
OEHP-2-2	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下(共用ユニット)	全外気処理 天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 14.0kW 暖房能力 13.2kW 風量 840m3/h 機外静圧 130Pa ドレンアップ、フィルターボックス、ロングライフフィルター、温度センサー付	1	200	0.21	1			○	1	廊下			
OEHP-2-3	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下(急性期ユニット)	全外気処理 天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 22.4kW 暖房能力 21.2kW 風量 1.680m3/h 機外静圧 200Pa ドレンアップ、フィルターボックス、ロングライフフィルター、温度センサー付	1	200	0.32	1			○	1	倉庫3			
OEHP-3	更新用ビルマルチ パッケージ室外機	1F回復期、社会復帰外気処理	高効率型 冷房能力 28.0kW 暖房能力 31.5kW アクティブフィルター、防振架台とも	3	200	冷房9.30 暖房8.84	1	○			2	屋上	920x740x1650H	197	既存基礎利用 PUHY-RP280DMG9
OEHP-3-1	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下(回復期ユニット)	全外気処理 天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 14.0kW 暖房能力 13.2kW 風量 840m3/h 機外静圧 130Pa ドレンアップ、フィルターボックス、ロングライフフィルター、温度センサー付	1	200	0.21	1	○			1	廊下			
OEHP-3-2	ビルマルチ パッケージ室内機	廊下(社会復帰ユニット)	全外気処理 天吊り埋込ダクト吹 冷房能力 14.0kW 暖房能力 13.2kW 風量 840m3/h 機外静圧 130Pa ドレンアップ、フィルターボックス、ロングライフフィルター、温度センサー付	1	200	0.21	1	○			1	廊下			
RS	個別リモコン		ビルマルチ用					34ヶ	33ヶ	19ヶ	1・2	各室			
RSC	集中コントローラー		10.4インチカラータッチパネル、最大50台接続	1	100/200	0.02	2	○			1	スタッフステーション1	284x65x200H		既存自立制御盤開口寸法拡大改修

温度条件 室内 夏 DB26℃ WB19℃ 冬 DB20℃ 室外 夏 DB34.3℃ 冬 DB7℃ WB6℃
冷媒管、ドレン管、制御配線、リモコン配線、室内機電源配線は、取外し、再接続とする。
室内機には、全て防振ハンガー取付

概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(1期工事)	設計図 図面名 空調機器表4(改修後)	図面番号 M - 07 縮尺 A 1:1: NON A 3:1: NON
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	---	--	---------------------------	---

空調機器表2 (改修前・撤去)

記号	系統名	形式	能力			室内機										室外機							備考								
			冷房 kW	暖房 kW	有効 加湿量 L/h	送風機		電源動力					設置場所	1期 工事	2期 工事	3期 工事	圧縮機 出力 kW	消費電力量		電源				台数	設置場所						
						風量 m3/h	機外静圧 Pa	送風機 kW	加湿器 kW	相 φ	電圧 V	起動 方式						メーカー 標準品	台数	冷房kW	暖房kW	送風機 kW				相 φ	電圧 V				
																												風量	機外静圧	送風機	加湿器
EHP-8	2F	空冷ヒートポンプ形(冷暖切替型)	28.0	31.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.8+0.035	8.16	8.22	0.46	3	200	1	3F 室外機置場	PUHY-P280CM-E3 (三菱電機)	920×760×1,650H	185kg			
EHP-8-1	集団精神療法室1,2	カセット形(4方向吹出)	5.6	6.3	-	960	-	0.05	-	1	200	直入	○	2	2F 集団精神療法室1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PLFY-P56BM-E3 (三菱電機)		
EHP-8-2	防音活動室	天井埋込ダクト形	5.6	6.3	0.5	840	100	0.08	0.003	1	200	直入	○	1	2F 倉庫7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PLFY-P56M-E1 (三菱電機)		
EHP-8-3	作業療法室	カセット形(4方向吹出)	4.5	5.0	-	960	-	0.05	-	1	200	直入	○	2	2F 作業療法室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PLFY-P45BM-E3 (三菱電機)		
EHP-8-4	情報管理室	カセット形(2方向吹出)	2.2	2.5	-	570	-	0.015	-	1	200	直入	○	1	2F 情報管理室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PLFY-P22LM-E2 (三菱電機)		
EHP-9	1F	空冷ヒートポンプ形(冷暖切替型)	56.0	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.2+4.2	15.40	16.70	0.75×2	3	200	1	2F 室外機置場	RXYP-560B (ダイキン)	1,880×765×1,680H	386kg			
EHP-9-1	屋内運動場	壁ビルトイン形(下吹出)	28.0	31.5	-	4,800	100	0.38×2	-	1	200	直入	○	2	1F 機械室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	FXYWUP-280M (ダイキン)	1,575×500×2,000H	135kg
OEHP-1	1,2F	空冷ヒートポンプ形(冷暖切替型)	45.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.7+4.5 +4.5	13.60	13.50	0.35×2	3	200	1	3F 室外機置場	PUHY-P450CM-E3 (三菱電機)	1,750×760×1,650H	285kg			
OEHP-1-1	廊下	外気処理天埋ダクト形	22.4	21.2	-	1680	200	0.20	-	3	200	直入	○	1	1F 業務管理室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PEFY-P224M-E1-F (三菱電機)		
OEHP-1-2	廊下	外気処理天埋ダクト形	14.0	13.2	-	840	130	0.08	-	1	200	直入	○	1	2F 廊下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PEFY-P140M-E1-F (三菱電機)		
OEHP-2	1F	空冷ヒートポンプ形(冷暖切替型)	50.0	56.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.2+0.045	16.18	14.58	0.46×2	3	200	1	2F 室外機置場	PUHY-P500CM-E3 (三菱電機)	1,750×760×1,650H	285kg			
OEHP-2-1	廊下	外気処理天埋ダクト形	14.0	13.2	-	840	130	0.08	-	1	200	直入	○	1	1F 廊下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PEFY-P140M-E1-F (三菱電機)		
OEHP-2-2	廊下(共用ユニット)	外気処理天埋ダクト形	14.0	13.2	-	840	130	0.08	-	1	200	直入	○	1	1F 廊下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PEFY-P224M-E1-F (三菱電機)		
OEHP-2-3	廊下(急性期ユニット)	外気処理天埋ダクト形	22.4	21.2	-	1,680	200	0.20	-	3	200	直入	○	1	1F 倉庫3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
OEHP-3	1F	空冷ヒートポンプ形(冷暖切替型)	28.0	31.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.8+0.035	8.16	8.22	0.46	3	200	1	2F 室外機置場	PUHY-P280CM-E3 (三菱電機)	920×760×1,650H	185kg			
OEHP-3-1	廊下(回復期ユニット)	外気処理天埋ダクト形	14.0	13.2	-	840	130	0.08	-	1	200	直入	○	1	1F 談話室兼食堂	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PEFY-P140M-E1-F (三菱電機)		
OEHP-3-2	廊下(社会復帰ユニット)	外気処理天埋ダクト形	14.0	13.2	-	840	130	0.08	-	1	200	直入	○	1	1F 廊下	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	PEFY-P140M-E1-F (三菱電機)		
RS		個別リモコン																											PAR-31MA (三菱電機)		
RSC		集中コントローラ (ON・OFF、スケジュール運転、温度設定)												2															G-150AD (三菱電機)		

I期毎に、冷媒ガスは、ポンプダウン、室内機及び室外機は、撤去処分とする。

工事概要

- 第7病棟のマルチタイプ空冷ヒートポンプパッケージの更新を居ながら工事で行う。
- 添付の全体工程表案及び屋内工事工程案をベースに工程表を検討、作成する。
準備工事も含めて、工事はユニット単位で行う。
- 原則屋内工事は、平日の昼間作業とするが、工程上の都合で土日作業等
行わなければならない場合は、監督員と協議する。
- 屋上の作業は、土日の昼間作業も可能とする。
- 屋内作業においては、警備員(軽作業員)を、屋内工事工程案に基づき配置する。
- 病棟内への機材、工具等の持ち込みは、玄関風除室にて、施設側係員に内容、数量を申請する。
退出時には、それらの数量等を係員が確認する。
- スタッフステーション2を工事用資材庫として利用、資機材を置いておくことができる。
- ユニット内の工事期間中は、スタッフステーション2の出入口に警備員(軽作業員)を配置し
スタッフステーション2の出入り時に、上記同様の確認を、施工者側で行う。
- 作業場所には、ブラコーン等でその周囲を囲い、作業班ごとに警備員(軽作業員)を配置し、
入居者、職員等の通行に支障がでる場合は、一時的に工事を中断し、ブラコーン等を移動させ
安全に通行ができる様に、警備員等が誘導する。
- 作業時には、施設側でセキュリティナースを配置、巡回し、入居者との対応を行う。
- 天井内作業がほとんどであり、上下作業にならない様に安全に注意すること。
- 病棟内での携帯電話の通信は不可、必要であれば内線連絡用のPHSを貸与する。
- セキュリティに配慮し、病棟への出入口は、正面玄関1か所に限定する。
屋上への出入りは、屋外出入口より、屋外階段を利用する。

施 工

- 屋外機、屋内機、キャンパス継ぎ手、リモコンスイッチ、集中コントローラーを撤去、更新する
冷媒管、ドレン管、制御配線等は、既存再利用とする。
- 屋内機EHP-1-2ほか天井隠蔽ダクトタイプ(22, 28, 36型)は、機種形状変更により
配管及び電源接続口が左右逆になり、
冷媒管、ドレン管、電源ケーブル、制御ケーブル、リモコンケーブルの延長が必要になる。
- 上記機種は、フィルター引き抜き方向が下抜きから横抜きに変わるため
各種改修工事が発生することが想定され、準備工事にて、それらの内容確認を行う。
- 天吊り隠蔽ダクトタイプの更新は、別紙天井改修範囲図を参考に、
更新に必要な範囲の天井、下地材とも撤去、更新とする。
天吊りカセット型の場合は、必要に応じて、最低限の天井改修を行う。
- 天井材撤去後は、作業終了時、毎回養生用ブラベニアで開口部の仮復旧を行い、
非作業日時(夜間、休日等)に天井開口したままにしておかないようにする。
- 天井撤去時、その範囲内にある照明器具、弱電機器、スプリンクラーヘッド等は、
仮止めを行い、機能的に支障の無い様に対処する。
天井復旧時には、その照明器具、弱電機器等は、所定の位置に再取り付けとする。
- 天井内作業をする部分は、作業前にビニールシートで床養生を行い
撤収時には、床養生を毎回撤去することとする。
なお、機材搬入時は屋内用台車を利用し、床養生は不要とする。
- 屋内機は、原則として振れ止めを施し、そこより防振ハンガーにて吊る。
- 火災事故防止のため、屋内での溶接作業は、禁止とする。
- 屋内機、屋外機更新後、冷媒管の気密試験を24時間以上行い、漏洩の無い事を確認すること。

精神医療センター第7病棟空調設備改修工事 屋内工事工程案

1期工事	秋口の中間期限定(平日)					
準備工事	(空調止めずに作業可能)	仮設天井材	床養生	監視員(軽作業員)		
日				作業場所	スタッフステーション2	
6	天井開口、照明器具等仮固定、障害物調査、採寸(3日x2ユニット)	貼り	部分布設、撤去	6	6	
1	屋内機スタッフステーション2搬入				1	
7				6	7	
1期-1	回復期ユニット(EHP-5)(OEHP-3)	仮設天井材	床養生	監視員(軽作業員)		
日				作業場所	スタッフステーション2	
4	屋内機更新 3班 19台/3班/2台・班=3.2日	撤去、再取付	部分布設、撤去	12	4	
2	冷媒管、ドレン管切り廻し	撤去、再取付	部分布設、撤去	2	2	
1	冷媒管圧力検査(24H)			1	1	
1	試運転調整			1	1	
2	天井材下地とも復旧、照明器具・弱電器具再取付	撤去	部分布設、撤去	2	2	
1	清掃			1	1	
11				19	11	
1期-2	社会復帰ユニット(EHP-4)(OEHP-3)	仮設天井材	床養生	監視員(軽作業員)		
日				作業場所	スタッフステーション2	
3	屋内機更新 3班 13台/3班/2台・班=2.2日	撤去、再取付	部分布設、撤去	9	3	
2	冷媒管、ドレン管切り廻し	撤去、再取付	部分布設、撤去	2	2	
1	冷媒管圧力検査(24H)			1	1	
1	試運転調整			1	1	
2	天井材下地とも復旧、照明器具・弱電器具再取付	撤去	部分布設、撤去	2	2	
1	清掃			1	1	
10				16	10	
1期-3	スタッフステーション1, 2(EHP-6)	仮設天井材	床養生	監視員(軽作業員)		
日				作業場所	スタッフステーション2	
1	屋内機更新 2班 天カセ4台/2班/2台・班=1.0日	撤去、再取付	部分布設、撤去	2	1	
1	冷媒管圧力検査(24H)			1	1	
1	試運転調整			1	1	
1	天井材復旧	撤去	部分布設、撤去	1	1	
1	清掃			1	1	
5				6	5	
				計	47	33
				合計		80

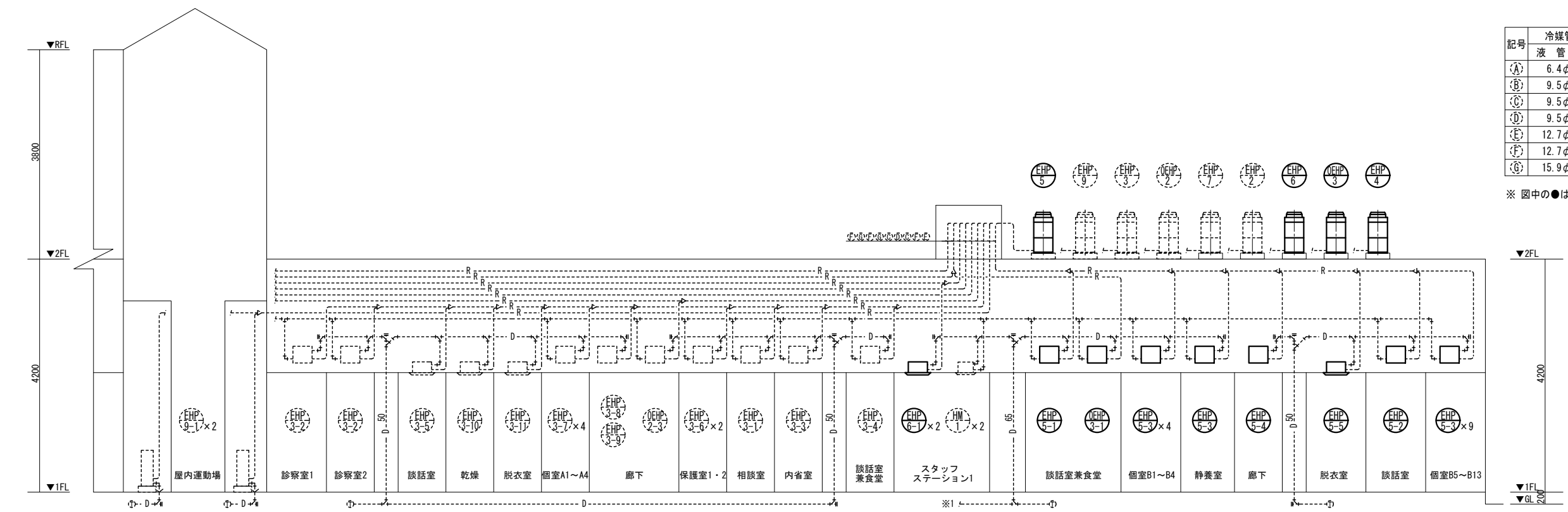
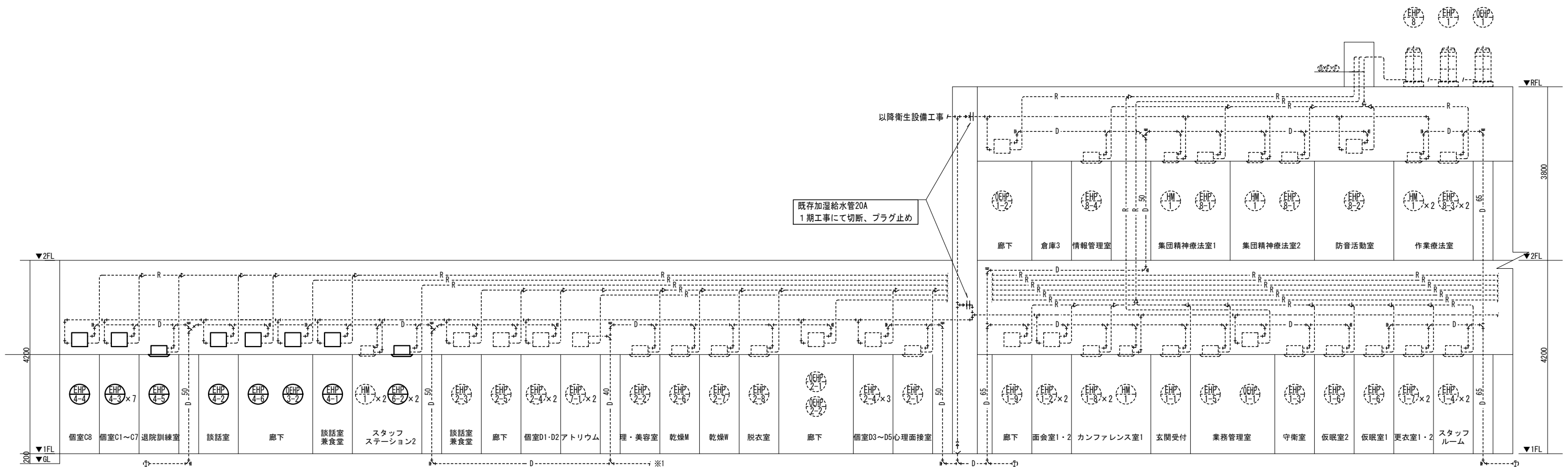
概要	設計年月日	変更年月日		照査	設計	製図	有限 会社	クラフト設備設計	工事名称	精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(1期工事)	設計図	図面番号
	R05年03月20日			栗木	栗木	佐藤	大谷	建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	図面名	工事概要、屋内工事工程案	縮尺 A 1 1 : NON A 3 1 : NON	M - 10

工 事 工 程 表 案

工事名 精神医療センター第7病棟空調改修工事(1期工事)

工期 6.5ヶ月

工事内容	2023(令和5)年									2024(令和6)年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
空調停止						—	—	—				
現地調査・仕様書作成・承諾			—	—	—							
機材発注, 空調機器製作			—	—	—	—						
屋内準備工事 天井開口、障害物調査、採寸						—						
屋上工事 屋外機撤去、更新、配管・配線更新						—						
屋内機 スタッフステーション2 搬入						—						
回復期ユニット空調改修							—					
社会復帰ユニット空調改修							—					
スタッフステーション1, 2空調改修								—				
検査								—	—			



記号	冷媒管サイズ		室内外渡り配線 (冷媒管共巻)
	液管	ガス管	
(A)	6.4φ	12.7φ	CVWS1.25 [□] -2C
(B)	9.5φ	15.9φ	CVWS1.25 [□] -2C
(C)	9.5φ	19.1φ	CVWS1.25 [□] -2C
(D)	9.5φ	22.2φ	CVWS1.25 [□] -2C
(E)	12.7φ	25.4φ	CVWS1.25 [□] -2C
(F)	12.7φ	28.6φ	CVWS1.25 [□] -2C
(G)	15.9φ	28.6φ	CVWS1.25 [□] -2C

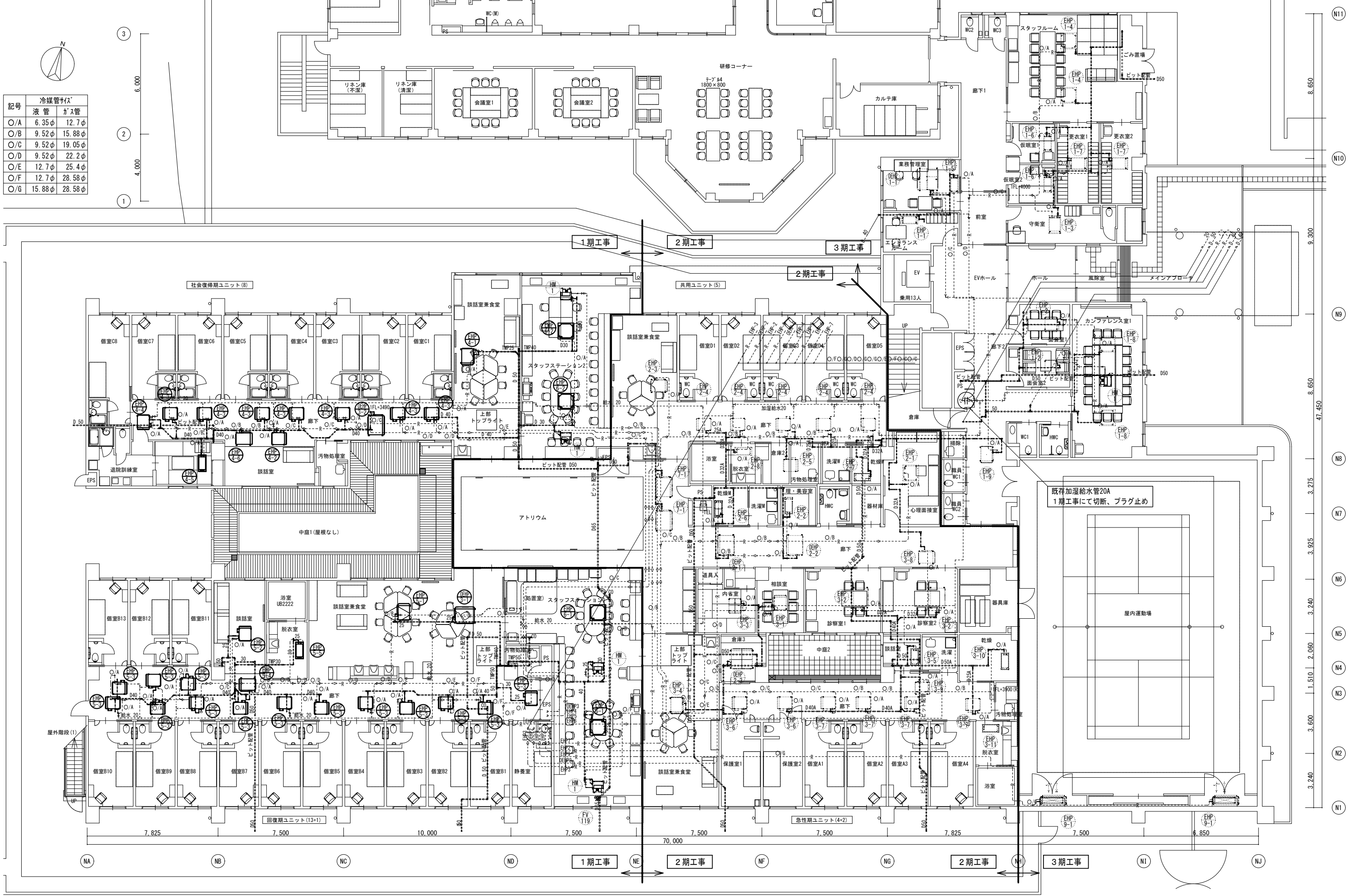
※ 図中の●は防火区画貫通処理を示す。

配管系統図

凡例	
	: 新設配管・機器を示す
	: 既存配管・機器を示す



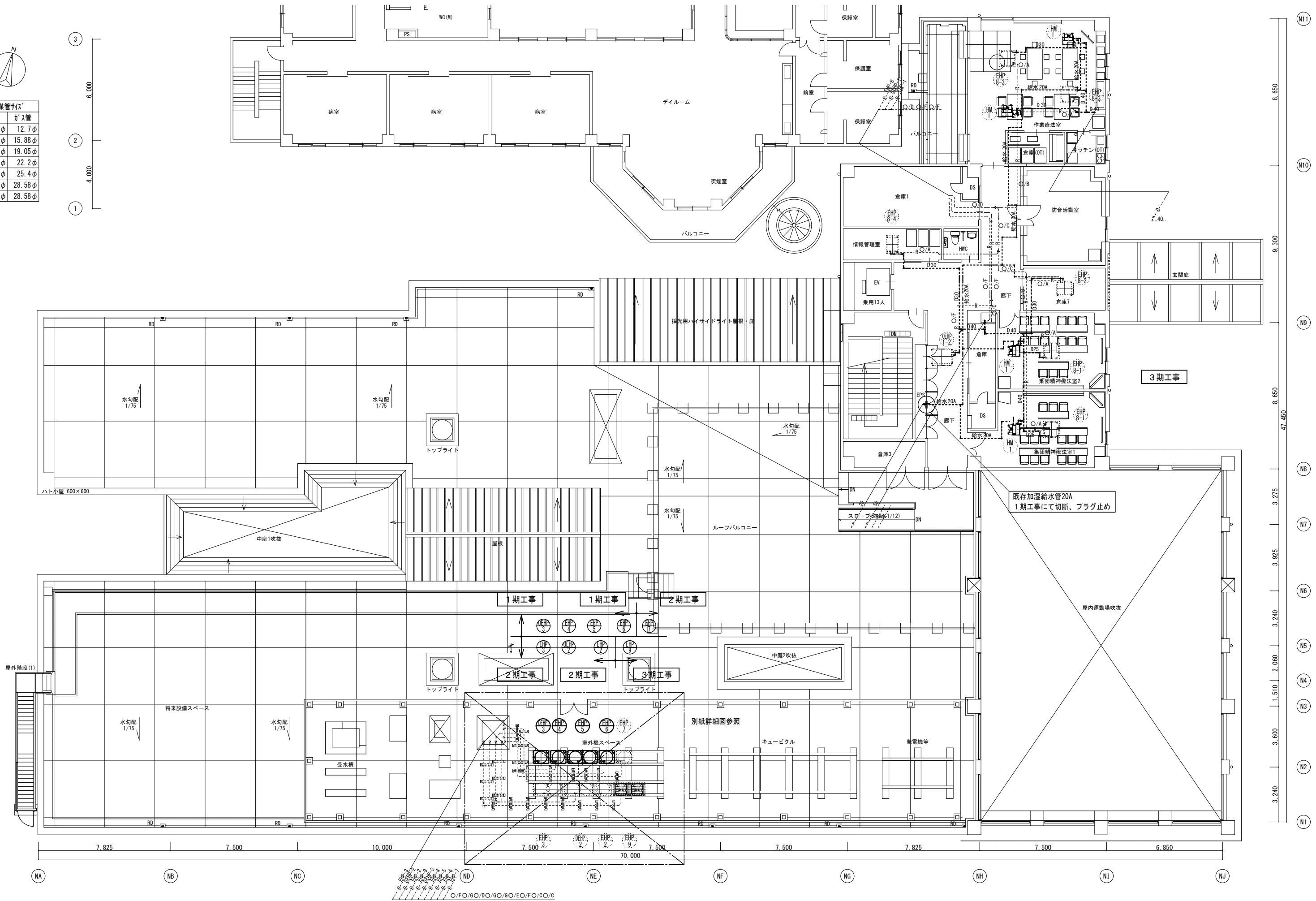
記号	冷媒管サイズ	
	液管	ガス管
○/A	6.35φ	12.7φ
○/B	9.52φ	15.88φ
○/C	9.52φ	19.05φ
○/D	9.52φ	22.2φ
○/E	12.7φ	25.4φ
○/F	12.7φ	28.58φ
○/G	15.88φ	28.58φ



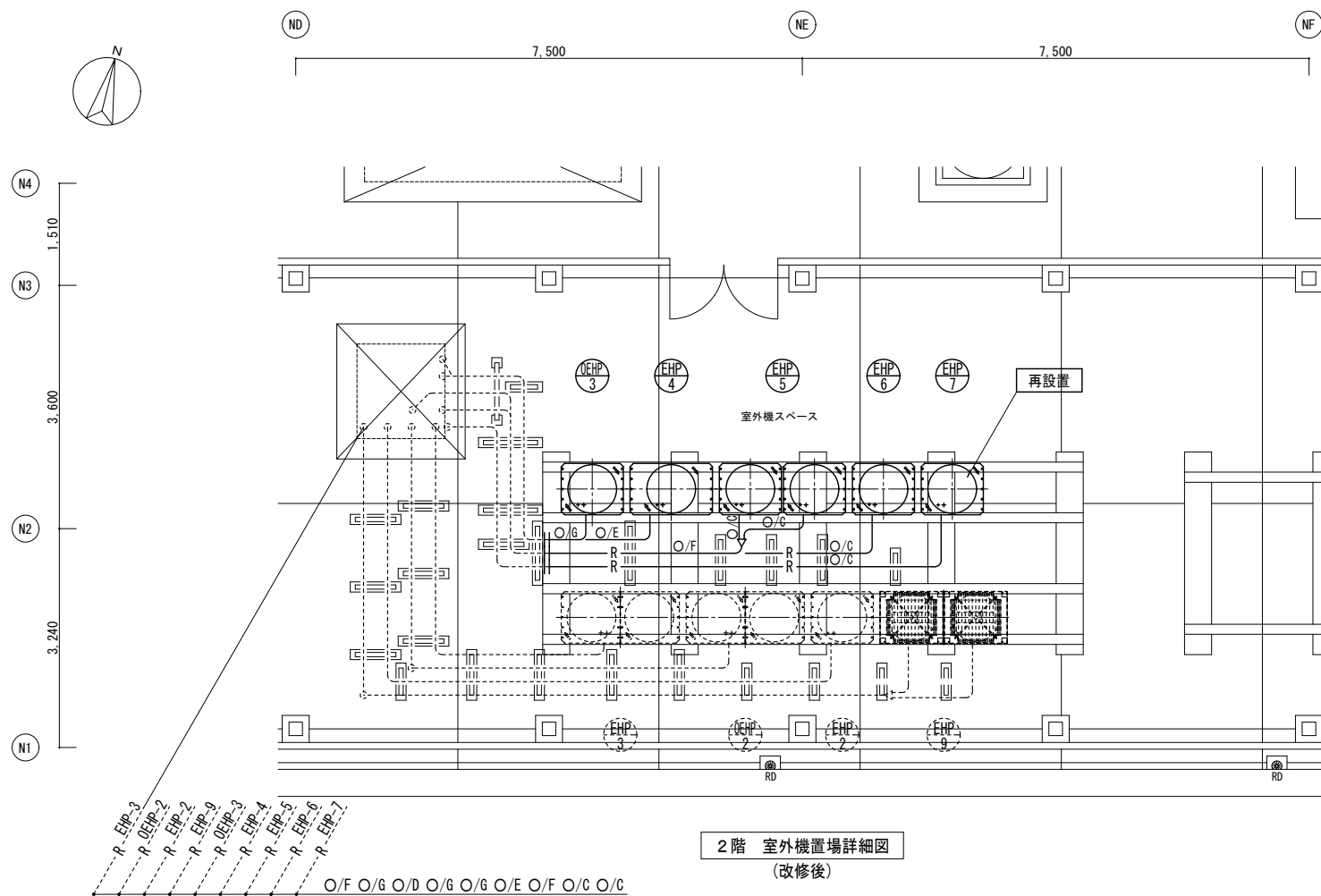
概要 設計年月日 R05年03月20日	変更年月日 照査 設計 製図 栗木 栗木 佐藤 大谷	有限 株式会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(1期工事) 設計図 図面名 1階 空調機器更新図 縮尺 A 1:100 A3 1:200	図面番号 M - 13
---------------------------	----------------------------------	---	--	----------------



記号	冷媒管サイズ	
	液管	ガス管
○/A	6.35φ	12.7φ
○/B	9.52φ	15.88φ
○/C	9.52φ	19.05φ
○/D	9.52φ	22.2φ
○/E	12.7φ	25.4φ
○/F	12.7φ	28.58φ
○/G	15.88φ	28.58φ



概要 設計年月日 R05年03月20日	変更年月日 照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(1期工事)	図面番号 M - 14 縮尺 A 1 1 : 100 A 3 1 : 200
---------------------------	-------------------	----------	----------------	---	--	--

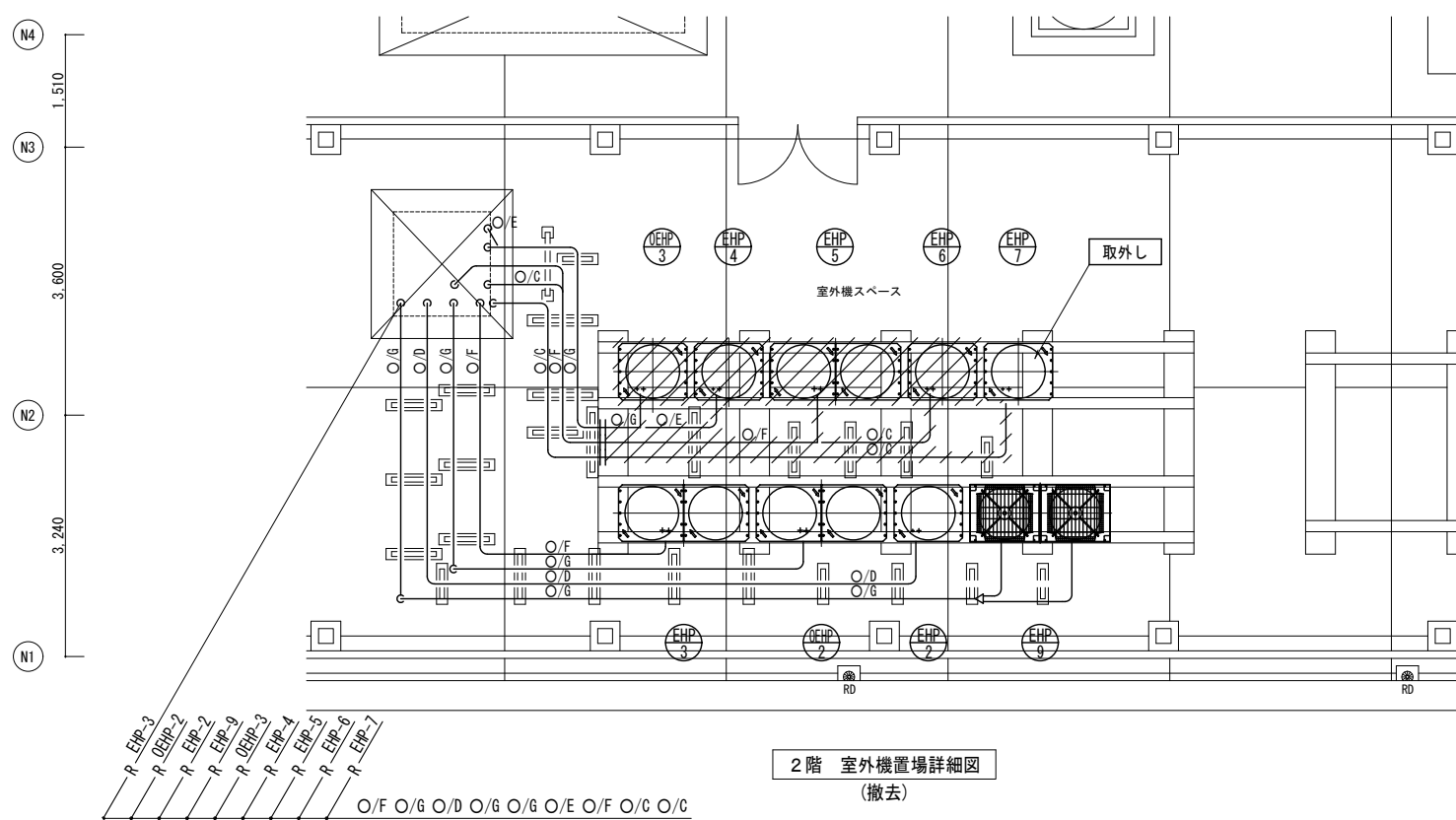


凡例	
—	: 新設配管・機器を示す
---	: 既存配管・機器を示す
==	: 既存配管に接続を示す

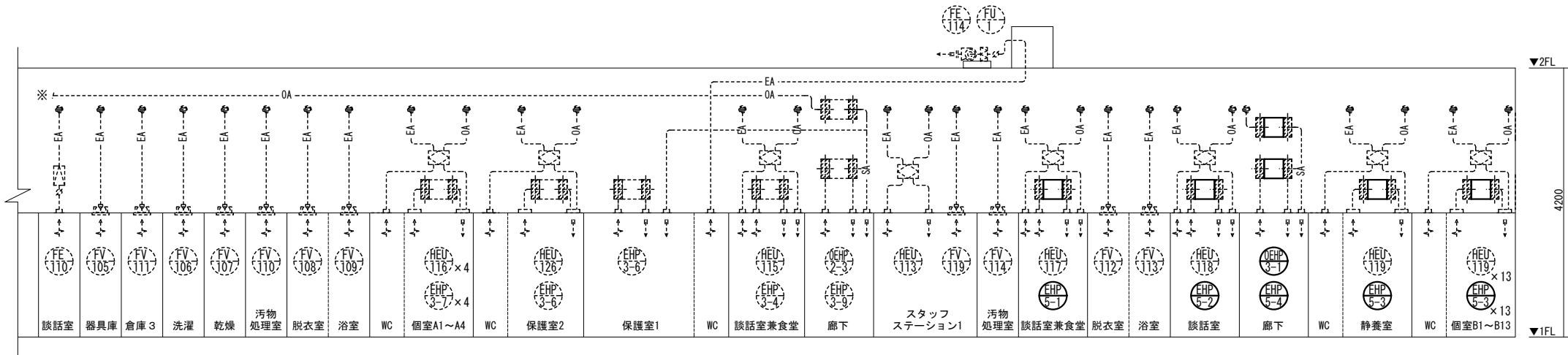
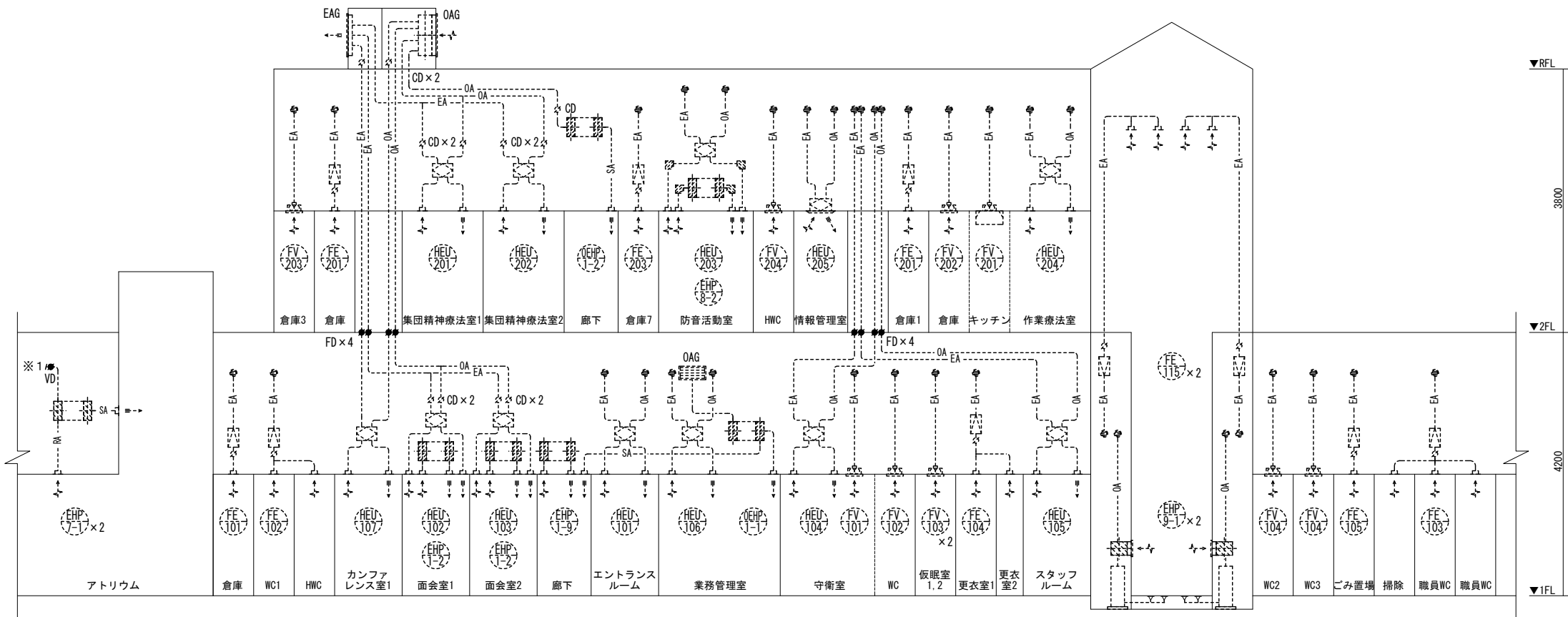
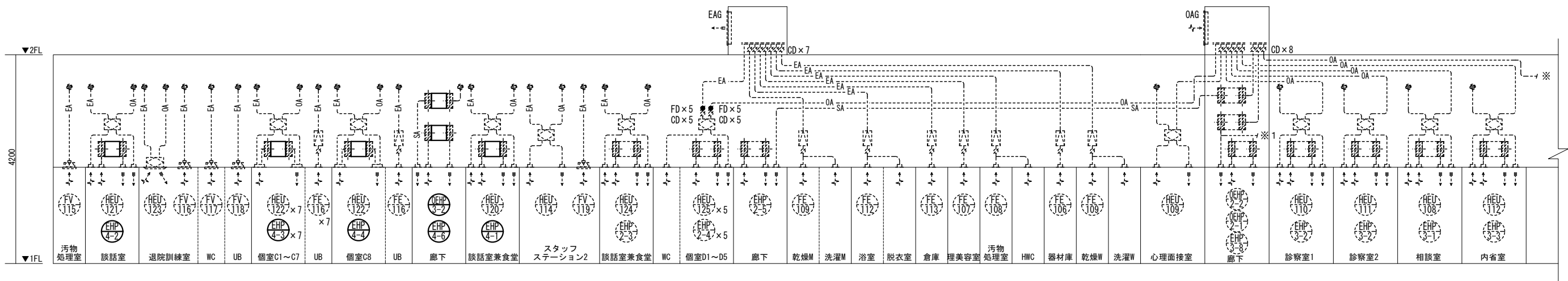
記号	冷媒管サイズ	
	液管	ガス管
O/A	6.35φ	12.7φ
O/B	9.52φ	15.88φ
O/C	9.52φ	19.05φ
O/D	9.52φ	22.2φ
O/E	12.7φ	25.4φ
O/F	12.7φ	28.58φ
O/G	15.88φ	28.58φ

特記事項

1期工事の室外機が、改修後は大きくなる為、既存EHP-7は、予め取外し移設のこと



凡例	
////	: 撤去配管・機器を示す
—	: 配管・機器、既存のまま
==	: 既存管切断を示す



ダクト系統図

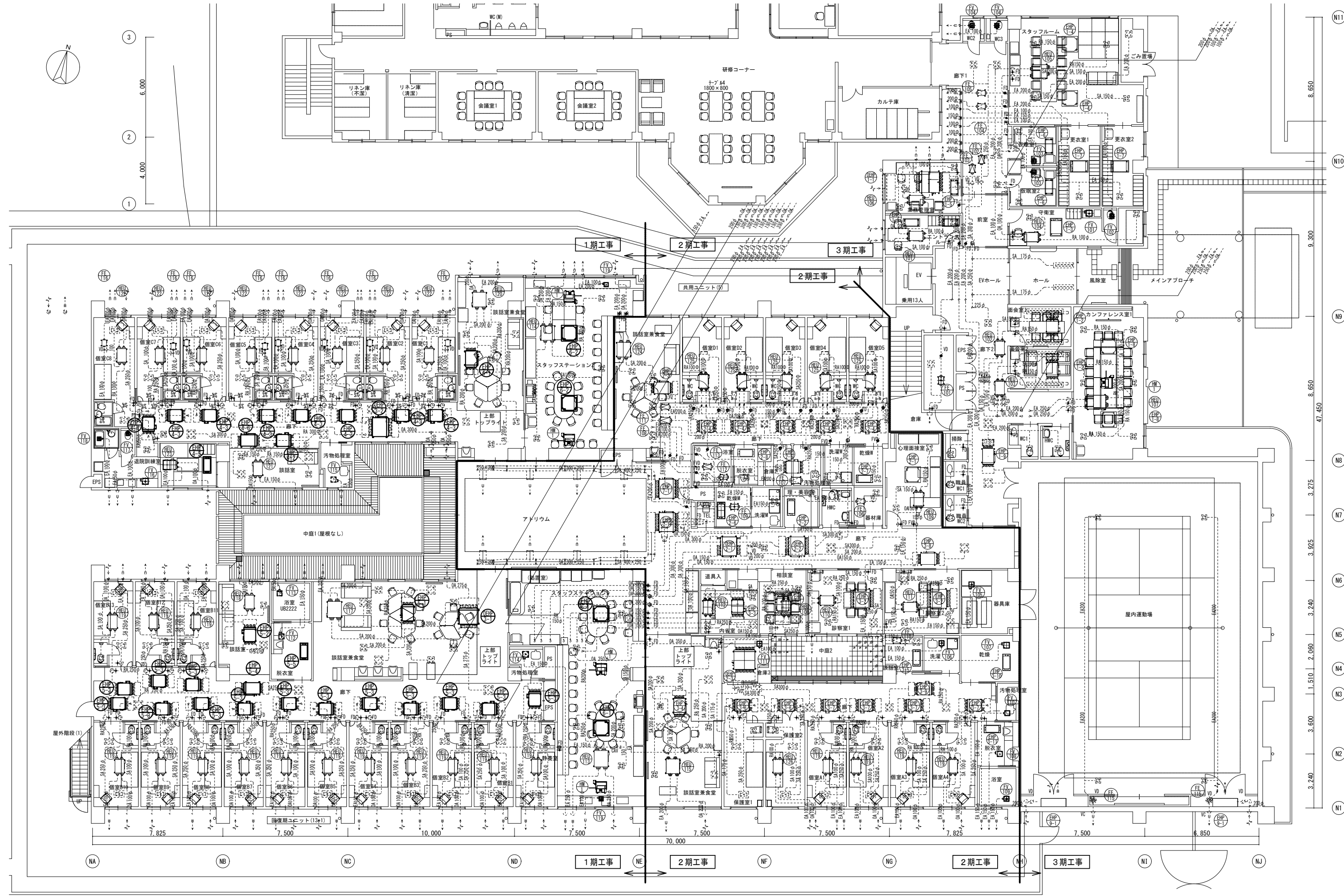
凡例

図記号	名称	備考
-----SA-----	給気ダクト	亜鉛鉄板
-----RA-----	還気ダクト	亜鉛鉄板
-----OA-----	外気ダクト	亜鉛鉄板
-----EA-----	排気ダクト	亜鉛鉄板
◁VD	風量調整ダンパー	
■FD	防火ダンパー	
◁CD	逆流防止ダンパー	

※ 注記：特記なき◁はVD

凡例

—————	新設配管・機器を示す
-----	既存配管・機器を示す



概要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限 株式会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 素 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(1期工事) 設計図 図面名 1階 空調機ダクト更新図 縮尺 A 1:100 A 3:1:200	図面番号 M - 17
	R05年03月20日		栗木	栗木	佐藤 大谷			

自動制御設備工事概要

1 個別リモコン

更新する屋内機の個別リモコンは更新、リモコンケーブルは再利用
共用部のリモコンレスの屋内機は、集中コントローラーより運転
それらの個別リモコンは、屋内機本体に取付。管理ゾーンは、新たに
廊下に個別リモコンを新設

2 外気処理屋内機(OEHP-n-n)の温度センサー

当該機は、リモコンレスのため、室内温度センサーが必要であるが
既存には見当たらない
従って、新たに図示位置に、温度センサーを新設し、制御ケーブルを
屋内機まで接続させる

3 集中コントローラー

1期工事にて、2台とも更新し、1期工事で更新しない屋内機も収容し
新・旧屋内機の制御が可能になるように設定する

4 集中コントローラー用制御線

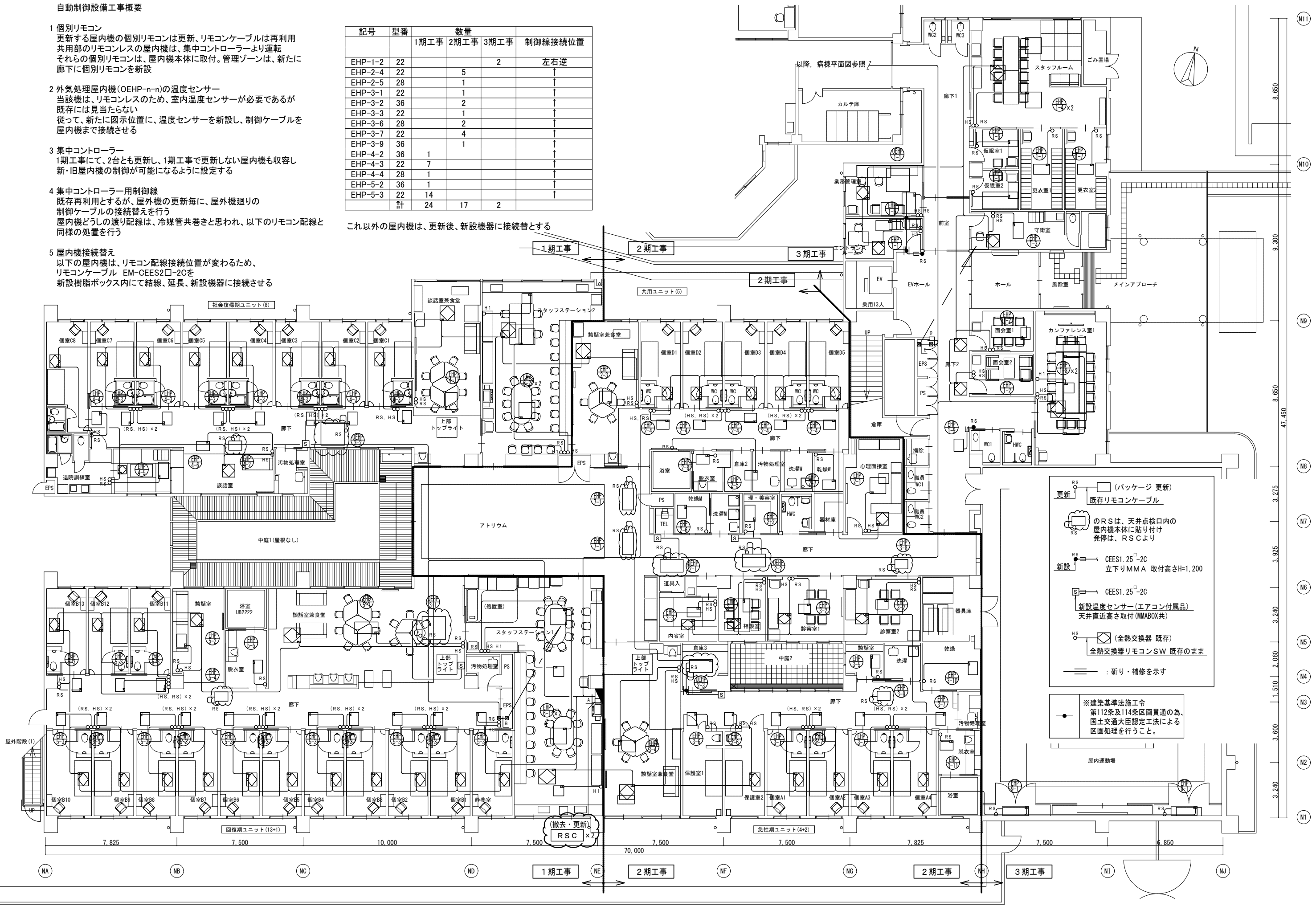
既存再利用とするが、屋外機の更新毎に、屋外機廻りの
制御ケーブルの接続替えを行う
屋内機どうしの渡り配線は、冷媒管共巻きと思われ、以下のリモコン配線と
同様の処置を行う

5 屋内機接続替え

以下の屋内機は、リモコン配線接続位置が変わるため、
リモコンケーブル EM-CEES2□-2Cを
新設樹脂ボックス内に結線、延長、新設機器に接続させる

記号	型番	数量			制御線接続位置
		1期工事	2期工事	3期工事	
EHP-1-2	22			2	左右逆
EHP-2-4	22		5		↑
EHP-2-5	28		1		↑
EHP-3-1	22		1		↑
EHP-3-2	36		2		↑
EHP-3-3	22		1		↑
EHP-3-6	28		2		↑
EHP-3-7	22		4		↑
EHP-3-9	36		1		↑
EHP-4-2	36	1			↑
EHP-4-3	22	7			↑
EHP-4-4	28	1			↑
EHP-5-2	36	1			↑
EHP-5-3	22	14			↑
計		24	17	2	

これ以外の屋内機は、更新後、新設機器に接続替とする



更新 (パッケージ更新)
既存リモコンケーブル

のRSは、天井点検口内の
屋内機本体に貼り付け
発停は、RSCより

新設 CEES1.25[□]-2C
立下りMMA 取付高さH=1,200

CEES1.25[□]-2C
新設温度センサー(エアコン付属品)
天井直近高さ取付(MMABOX共)

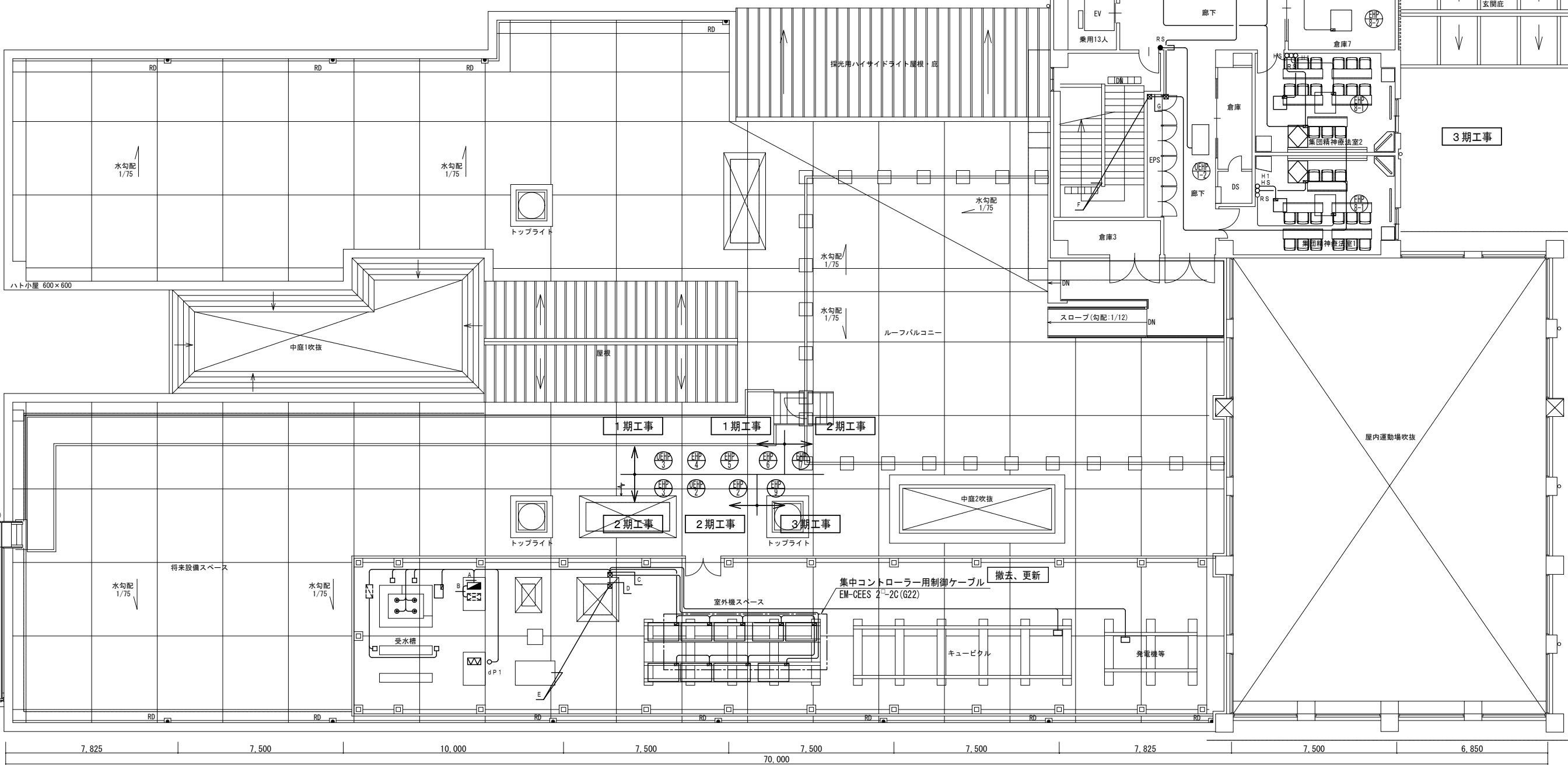
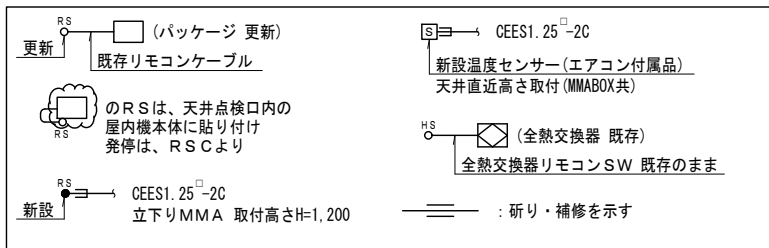
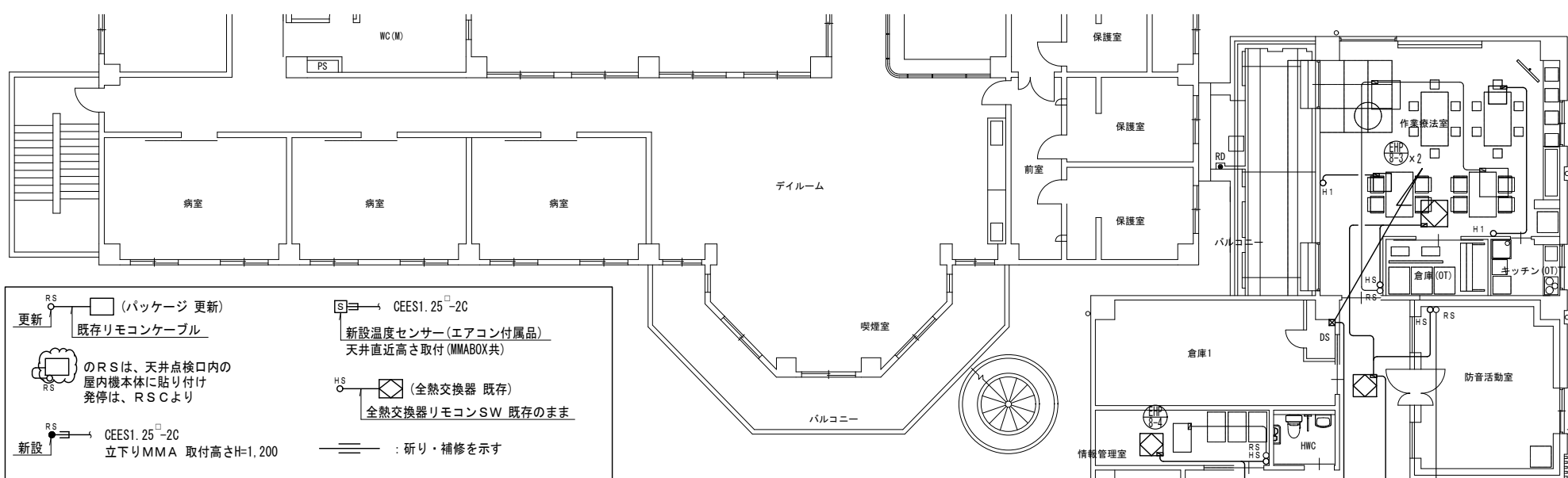
(全熱交換器 既存)
全熱交換器リモコンSW 既存のまま

： 研り・補修を示す

※建築基準法施工令
第112条及114条区画貫通の為、
国土交通大臣認定工法による
区画処理を行うこと。



③
6,000
②
4,000
①



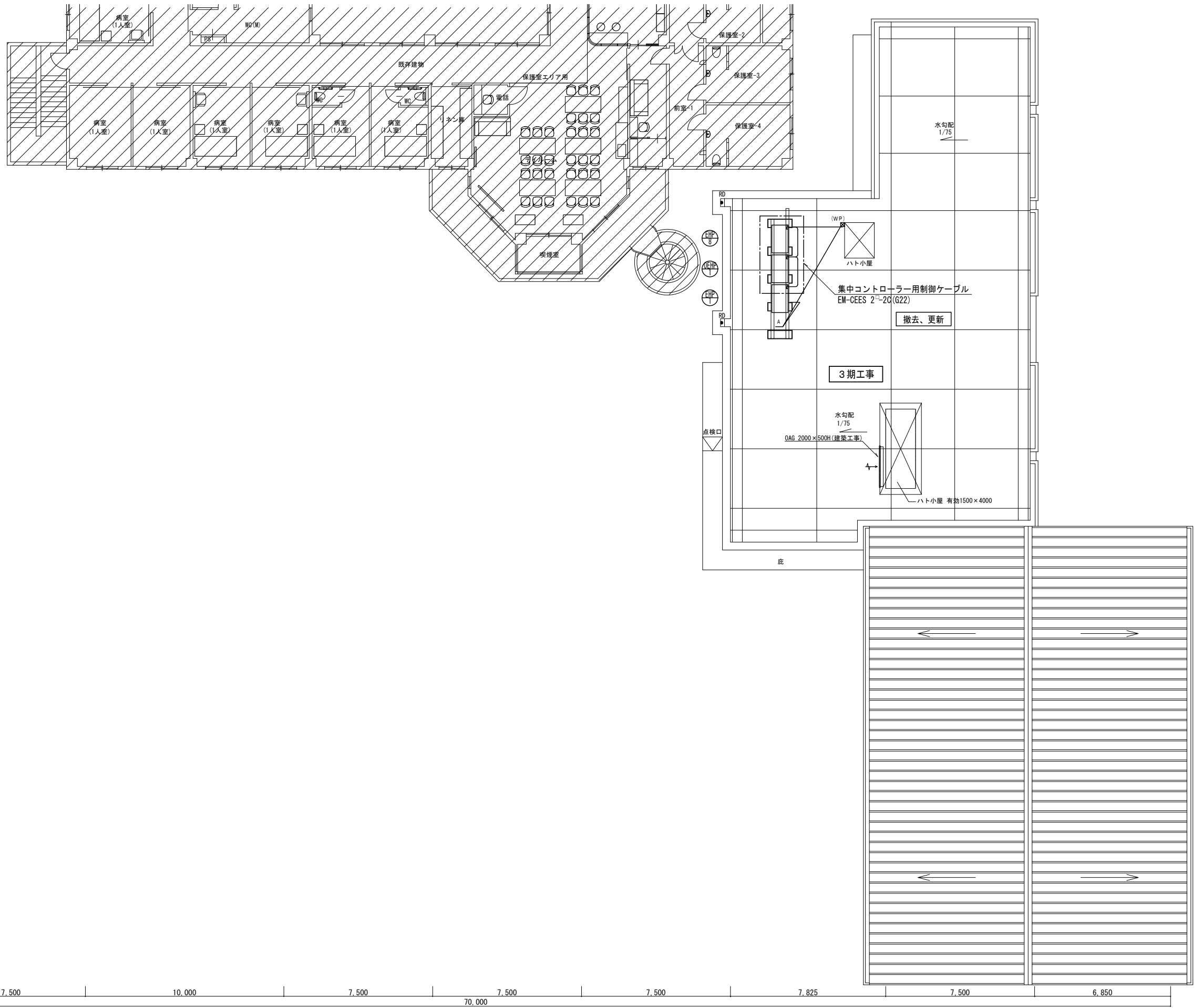
⑩
8,650
⑨
9,300
⑧
8,650
⑦
47,450
⑥
3,275
⑤
3,925
④
3,240
③
2,060
②
1,510
①
3,600
⑩
3,240
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①

NA NB NC ND NE NF NG NH NI NJ
 7.825 7.500 10.000 7.500 7.500 7.500 7.825 7.500 6.850

概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限 株式会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(1期工事) 2階 自動制御設備更新図(現況)	図面番号 M - 19 縮尺 A 1:100 A 3:1:200
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--	--	---



③
6.000
②
4.000
①



⑪
8.650
⑩
9.300
⑨
8.650
47.450
⑧
3.275
⑦
3.925
⑥
3.240
⑤
2.060
④
1.510
③
3.600
②
3.240
①

7.825 7.500 10.000 7.500 7.500 7.500 7.825 7.500 6.850

NA NB NC ND NE NF NG NH NI NJ

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限 株式会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 本高 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	精神医療センター第7病棟 (医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事 (1期工事)	図面番号	M - 20
	R05年03月20日		栗木	栗木	佐藤 大谷		図面名	R階 自動制御設備更新図 (現況)	縮尺	A 1 1 : 100 A 3 1 : 200

機器凡例

シンボル	記号	配線	配管	
			屋内	屋外
○	HS	EM-CEES2口 - 2C x 1 (PF22)		
○	RS	EM-CEES2口 - 2C x 1 (PF22)		
○	集中コントローラ	EM-CEES2口 - 2C x 1 (PF22)		
○	H1	EM-CEE2口 - 2C x 1 (PF22)		
□	SVW1	EM-CEE2口 - 3C x 1 (E25)		
□	遮断弁	EM-CEE2口 - 5C x 1 (E25)		
○	dP1	EM-CEE2口 - 2C x 1 (E25)		
⊙	3P	EM-CEE2口 - 3C x 1 (E25)		
⊙	5P	EM-CEE2口 - 5C x 1 (E25)		

記号凡例

平面図記号	内容
—	露出配管
—	天井内ケーブル配線
⊠ (WP)	ブルボックス (WPは防水仕様)

<特記>
・ 天井内はケーブルコログシとし、室内サーモ・スイッチ類及び壁への立下りは配管を使用する。

1階

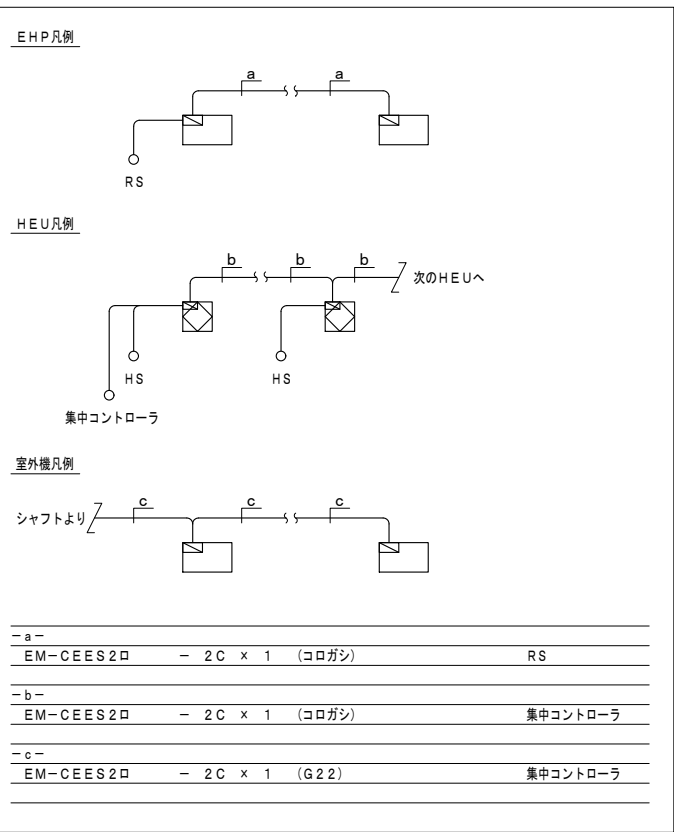
-A-	EM-CEES2口 - 2C x 2 (E31)	集中コントローラ x 2
-B-	EM-CEES2口 - 2C x 1 (コログシ)	集中コントローラ
EM-CEES2口 - 2C x 1 (コログシ)	集中コントローラ	
-C-	EM-CEE2口 - 2C x 3 (E39)	dP1 x 2 空転防止
EM-CEE2口 - 3C x 2 (E31)	SVW1 x 2	
EM-CEE2口 - 3C x 2 (E31)	3P x 2	
EM-CEE2口 - 5C x 2 (E39)	5P x 2	
EM-CEES2口 - 2C x 1 (E25)	集中コントローラ	
EM-CEES2口 - 2C x 1 (E25)	集中コントローラ	
EM-KPEES0.75口 - 3P x 2 (E39)	遮断弁制御盤 加圧給水ポンプユニット	
-D-	EM-CEE2口 - 2C x 3 (コログシ)	dP1 x 2 空転防止
EM-CEE2口 - 3C x 2 (コログシ)	SVW1 x 2	
EM-CEE2口 - 3C x 2 (コログシ)	3P x 2	
EM-CEE2口 - 5C x 2 (コログシ)	5P x 2	
EM-CEES2口 - 2C x 1 (コログシ)	集中コントローラ	
EM-CEES2口 - 2C x 1 (コログシ)	集中コントローラ	
EM-KPEES0.75口 - 3P x 2 (コログシ)	遮断弁制御盤 加圧給水ポンプユニット	

2階

-A-	EM-CEES2口 - 2C x 2 (E31)	集中コントローラ x 2
-B-	EM-CEE2口 - 2C x 3 (E39)	dP1 x 2 空転防止
EM-CEE2口 - 3C x 2 (E31)	SVW1 x 2	
EM-CEE2口 - 3C x 2 (E31)	3P x 2	
EM-CEE2口 - 5C x 2 (E39)	5P x 2	
EM-CEES2口 - 2C x 1 (E25)	集中コントローラ	
EM-KPEES0.75口 - 3P x 2 (E39)	加圧給水ポンプユニット 遮断弁制御盤	
-C-	EM-CEE2口 - 2C x 3 (E39)	dP1 x 2 空転防止
EM-CEE2口 - 3C x 2 (E31)	SVW1 x 2	
EM-CEE2口 - 3C x 2 (E31)	3P x 2	
EM-CEE2口 - 5C x 2 (E39)	5P x 2	
EM-CEES2口 - 2C x 1 (E25)	集中コントローラ	
EM-KPEES0.75口 - 3P x 2 (E39)	加圧給水ポンプユニット 遮断弁制御盤	
-D-	EM-CEE2口 - 2C x 1 (G22)	空転防止
EM-CEE2口 - 2C x 1 (G22)	dP1	
EM-CEE2口 - 2C x 1 (G22)	dP1	
EM-CEE2口 - 3C x 1 (G22)	SVW1	
EM-CEE2口 - 3C x 1 (G22)	3P	
EM-CEE2口 - 3C x 1 (G22)	3P	
EM-CEE2口 - 3C x 1 (G22)	SVW1	
EM-CEE2口 - 5C x 1 (G28)	5P	
EM-CEE2口 - 5C x 1 (G28)	5P	
EM-CEES2口 - 2C x 1 (G22)	集中コントローラ	
EM-KPEES0.75口 - 3P x 1 (G22)	加圧給水ポンプユニット	
EM-KPEES0.75口 - 3P x 1 (G22)	遮断弁制御盤	
-E-	EM-CEES2口 - 2C x 1 (E25)	集中コントローラ

R階

-A-	EM-CEES2口 - 2C x 1 (E25)	集中コントローラ
-----	--------------------------	----------



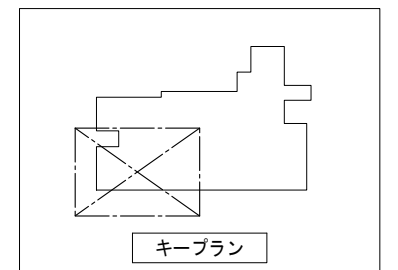


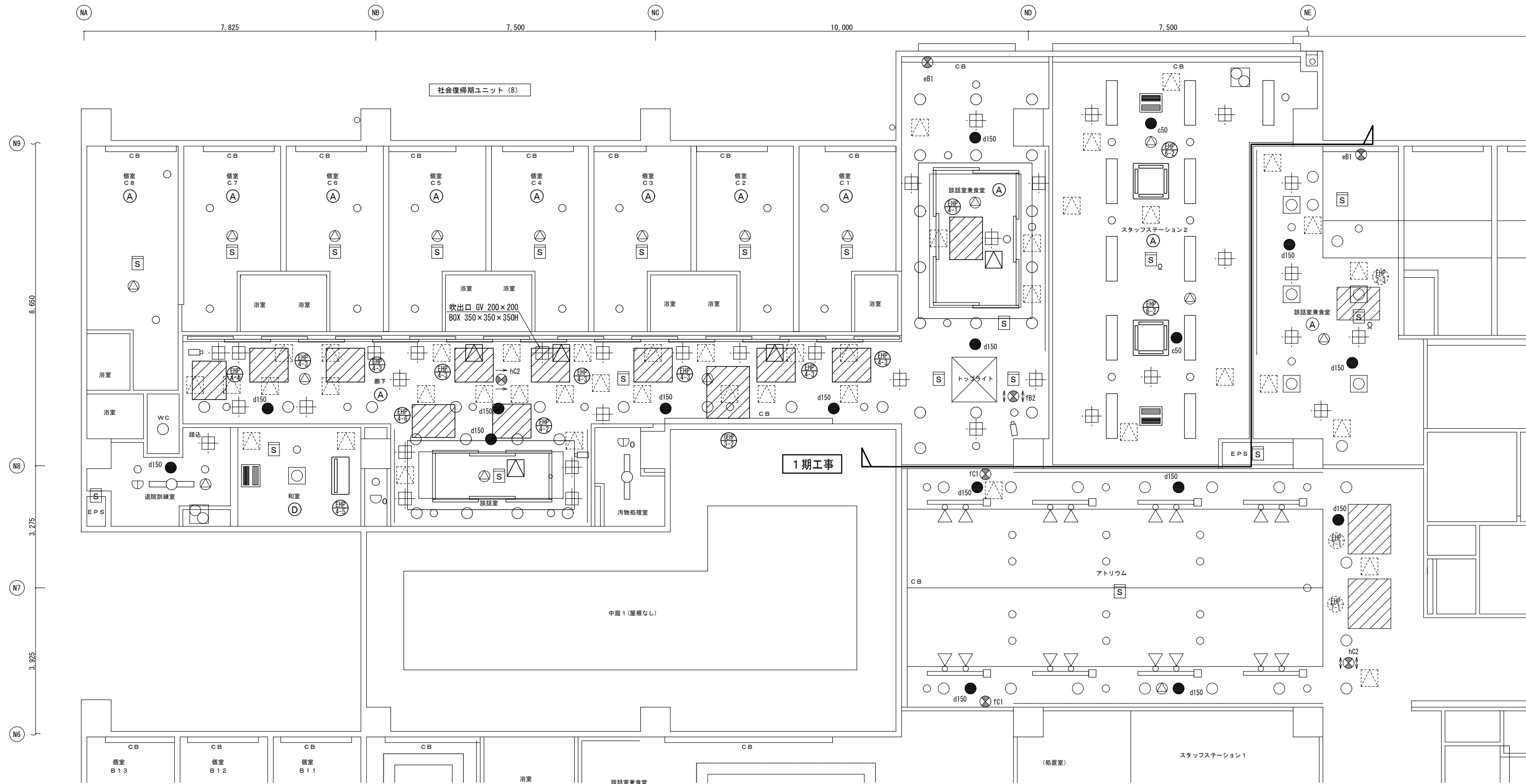
凡例	
記号	天井仕上
(A)	石こうボードt9.5下地 + 岩綿吸音板t12.0
(B)	石こうボードt9.5下地 + 岩綿吸音板t12.0 (立体模様)
(C)	無石棉カイカル板t6.0目透し + EP塗り
(D)	化粧石こうボードt12.5 (木目模様)
(E)	石こうボードt9.5下地 + 化粧無石棉カイカル板t6.0
(F)	石こうボードt9.5下地 + ビニルクロス貼り
(G)	化粧石こうボードt9.5

記号	名称	備考	記号	名称	備考
○	HF32W×1		□	ITVカメラ	ドーム型
○	HF32W×2		○	スプリンクラーヘッド	高感度型1種 72°C
○	HF32W×4		⊕	既存 吸込口、吹出口	
○	LEDダウンライト 100W相当		⊗	既存 天井換気扇	
●	誘導灯		⊠	既存 天井点検口	450×450(鍵付)
●	非常照明 75W相当		⊡	新設 天井点検口	450×450(鍵付)
△	天井スピーカー		▨	天井改修範囲	軽天下地とも
⊠	煙感知器				
▽	熱感知器				

1期工事

※ 天井改修範囲内にある器具は
取外し→仮取付→取外し→再取付とする
※ 天井改修範囲内にある天井点検口は
取外し、再取付とする
※ 天井開口後は、毎回養生用ブラベニアで
天井仮復旧させる。

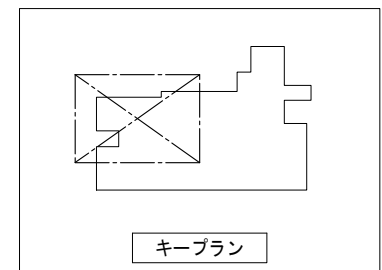




凡例	
記号	天井仕上
(A)	石こうボードt9.5下地 + 岩綿吸音板t12.0
(B)	石こうボードt9.5下地 + 岩綿吸音板t12.0 (立体模様)
(C)	無石棉ケイカル板t6.0目透し + EP塗り
(D)	化粧石こうボードt12.5 (木目模様)
(E)	石こうボードt9.5下地 + 化粧無石棉ケイカル板t6.0
(F)	石こうボードt9.5下地 + ビニルクロス貼り
(G)	化粧石こうボードt9.5

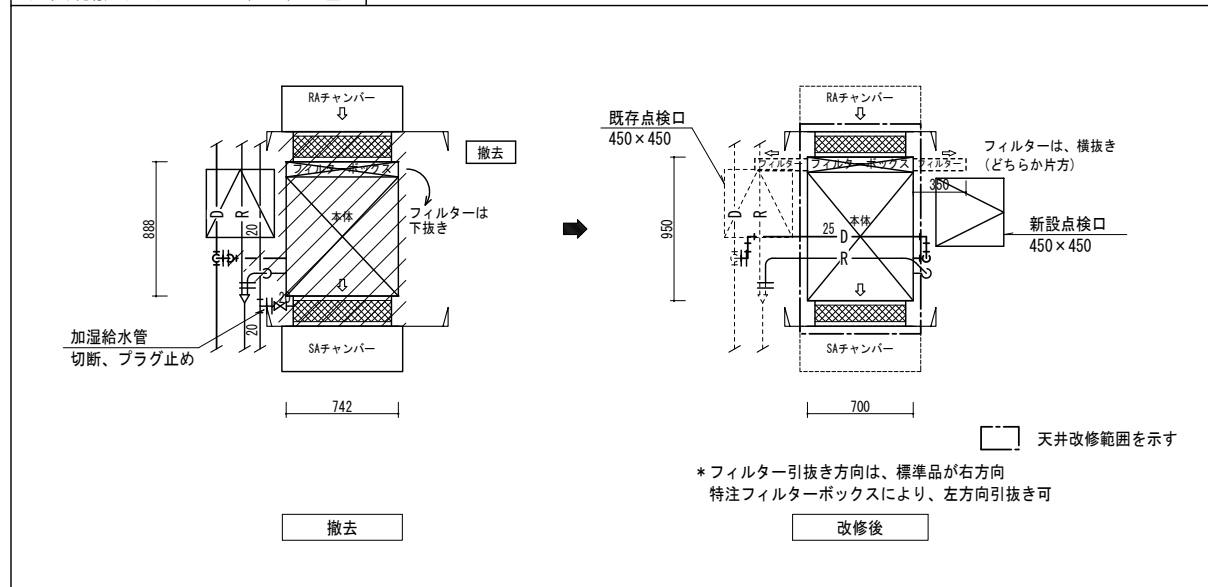
記号	名称	備考	記号	名称	備考
HF32W×1	HF32W×1		ITVカメラ	ドーム型	
HF32W×2	HF32W×2		スプリンクラーヘッド	高感度型1種 72°C	
HF32W×4	HF32W×4		既存 吸込口、吹出口		
○	LEDダウンライト 100W相当		既存 天井換気扇		
⊗	誘導灯		既存 天井点検口	450×450(鍵付)	
●	非常照明 75W相当		新設 天井点検口	450×450(鍵付)	
△	天井スピーカー		天井改修範囲	軽天下地とも	
S	煙感知器				
▽	熱感知器				

※ 天井改修範囲内にある器具は
取外し→仮取付→取外し→再取付とする
※ 天井改修範囲内にある天井点検口は
取外し、再取付とする
※ 天井開口後は、毎回養生用プラベニアで
天井仮復旧させる。



天吊り隠蔽ダクトタイプ屋内機 一覧

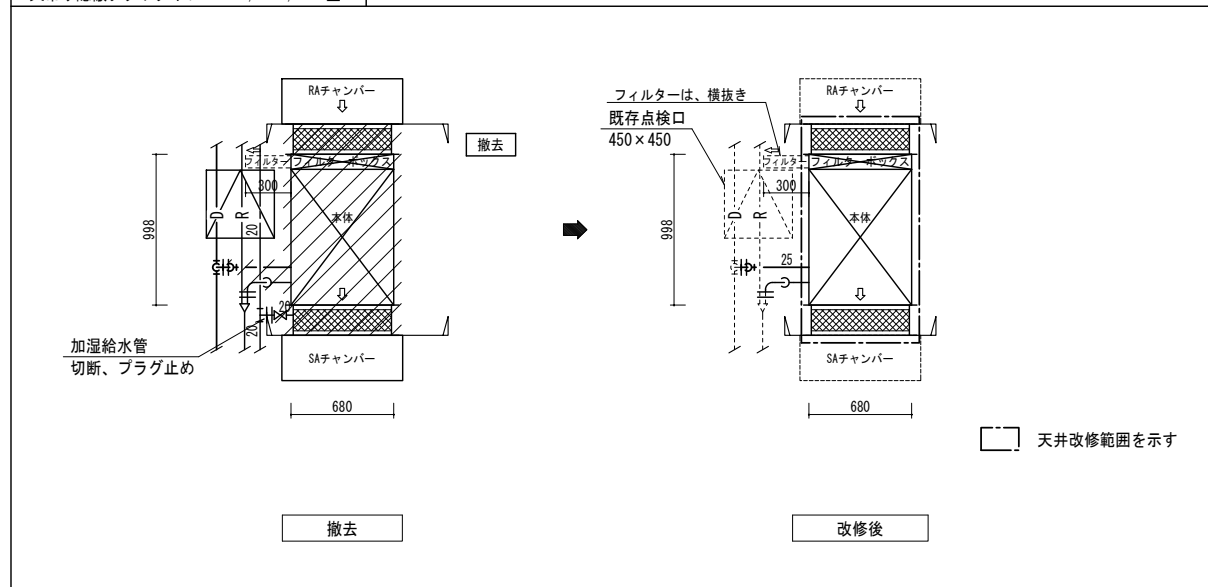
天吊り隠蔽ダクトタイプ 22, 28, 36型



記号	型番	数量			改修前			改修後			冷媒管			
		1期工事	2期工事	3期工事	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	口径	接続
EHP-1-2	22			2	742x888x293H	有	640x174	652x251	700x950x250H	無	660x178	658x208	12.7x6.4	左右逆
EHP-2-4	22		5		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-2-5	28		1		↑	無	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-3-1	22		1		↑	有	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-3-2	36		2		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-3-3	22		1		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-3-6	28		2		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-3-7	22		4		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-3-9	36		1		↑	無	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-4-2	36	1			↑	有	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-4-3	22	7			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-4-4	28	1			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-5-2	36	1			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-5-3	22	14			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
計		24	17	2										

* 冷媒管共巻きとなっている制御配線は、機器接続位置が変わるため、通信ケーブルCVVS1.25[□]-2Cを新設樹脂ボックス内にて結線、延長、新設機器に接続させる。
天井開口寸法 1,000×1,500、床養生寸法 2,000×2,500 (いずれも概算寸法)

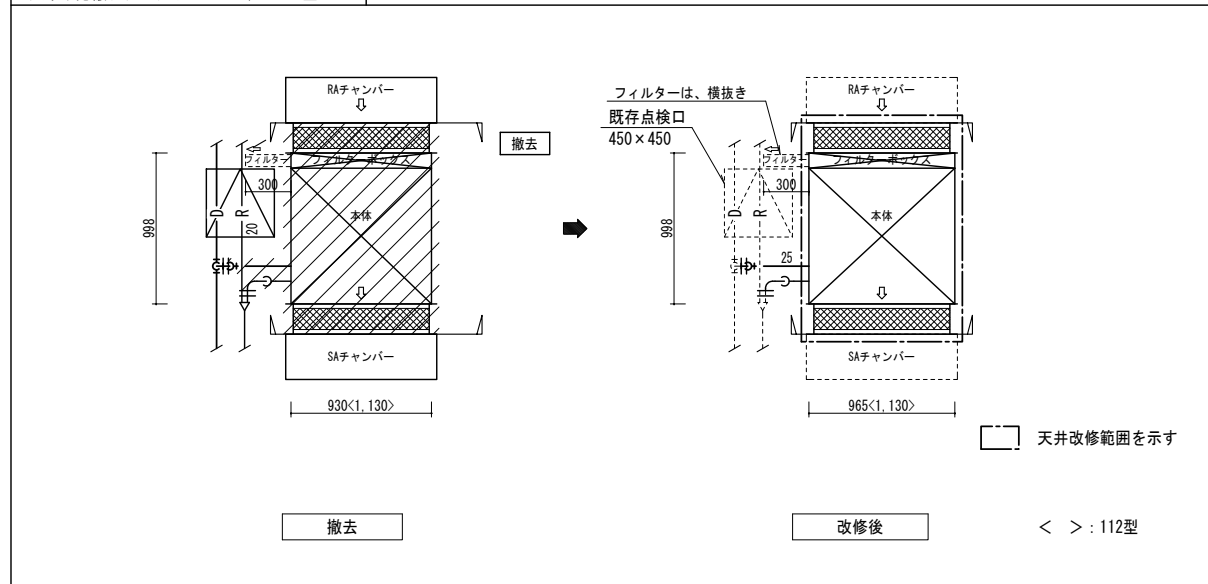
天吊り隠蔽ダクトタイプ 45, 56, 71型



記号	型番	数量			改修前			改修後			冷媒管			
		1期工事	2期工事	3期工事	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	口径	接続
EHP-1-9	45			1	680x998x380H	無	550x250	600x340	680x998x380H	無	550x250	600x340	12.7x6.4	同側
EHP-2-3	56		1		↑	有	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-3-4	71		1		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	15.9x9.5	↑
EHP-3-8	45		1		↑	無	↑	↑	↑	↑	↑	↑	12.7x6.4	↑
EHP-4-1	56	1			↑	有	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-4-6	45	1			↑	無	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-5-4	45	1			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
EHP-8-2	56			1	↑	有	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
計		3	3	2										

* 天井開口寸法 1,000×1,700、床養生寸法 2,000×2,500 (いずれも概算寸法)

天吊り隠蔽ダクトタイプ 90, 112型



記号	型番	数量			改修前			改修後			冷媒管			
		1期工事	2期工事	3期工事	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	口径	接続
EHP-5-1	90	1			930x998x380H	無	800x250	850x340	965x998x380H	無	835x250	885x340	15.9x9.5	同側
EHP-7-1	12		2		1130x998x380H	↑	1000x250	1050x340	1130x998x380H	↑	1000x250	1050x340	↑	↑
計		1	2											

* 天井開口寸法 1,200×1,700、床養生寸法 2,000×2,500 (いずれも概算寸法)

注記事項

機器仕様は、既存メーカーの三菱電機製を参考にして。着手前に、新旧の納入仕様書にて最終確認をすること。
本体寸法には、フィルターボックスを含んでいる。
配管接続口が左右逆になる機種があり、事前に現場調査を十分行い、障害になるものがある場合はそれらの切りまし工事を、事前に済ませること。
火災事故を防ぐため、冷媒管の接続には溶接は使用せず、メカニカル継手(JCDA0012)を使用する。
天井開口後は、毎回養生用プラベニアで天井修復旧させる。
床養生は、毎回作業終了後、撤去とし、床清掃を行う。

撤去凡例

	: 撤去配管・機器を示す
	: 配管・機器、既存のまま
	: 既存管切断を示す

改修後凡例

	: 新設配管・機器を示す
	: 既存配管・機器を示す
	: 既存配管に接続を示す

天吊り隠蔽ダクトタイプ屋内機 一覧

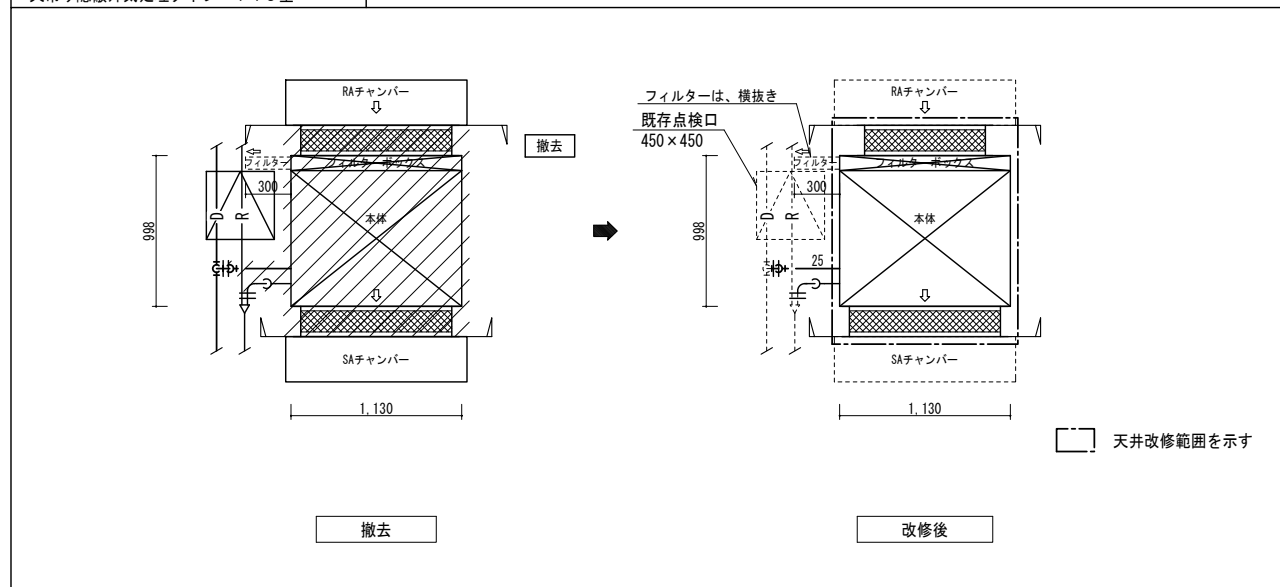
記号	型番	数量			改修前				改修後				冷媒管	
		1期工事	2期工事	3期工事	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	口径	接続
OEHP-1-2	140			1	1130x998x380H	無	1000x250	1050x340	1130x998x380H	無	1000x250	1050x340	15.9x9.5	同側
OEHP-2-1	140		1		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
OEHP-2-2	140		1		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
OEHP-3-1	140	1			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
OEHP-3-2	140	1			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
計		2	2	1										

*天井開口寸法 1,300×1,700、床養生寸法 2,500×2,500 (いずれも概算寸法)

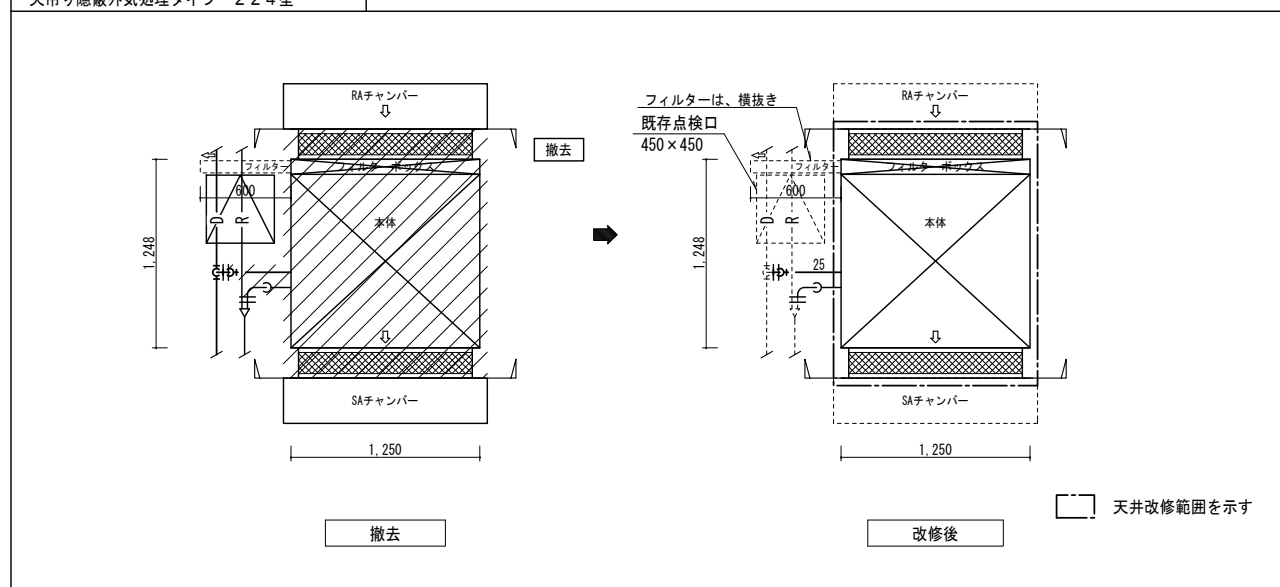
記号	型番	数量			改修前				改修後				冷媒管	
		1期工事	2期工事	3期工事	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	本体寸法	加湿器	SAキャンパス	RAキャンパス	口径	接続
OEHP-1-1	224			1	1250x1248x470H	無	1100x340	1100x420	1250x1248x470H	無	1100x340	1100x420	19.1x9.5	同側
OEHP-2-3	224		1		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
計			1	1										

*天井開口寸法 1,500×2,000、床養生寸法 2,500×3,000 (いずれも概算寸法)

天吊り隠蔽外気処理タイプ 140型



天吊り隠蔽外気処理タイプ 224型



注記事項

機器仕様は、既存メーカーの三菱電機製を参考にしている。着手前に、新旧の納入仕様書にて最終確認をすること。
 本体寸法には、フィルターボックスを含んでいる。
 配管接続口が左右逆になる機種があり、事前に現場調査を十分行い、障害になるものが有ればそれらの切りまわし工事を、事前に済ませること。
 火災事故を防ぐため、冷媒管の接続には溶接は使用せず、メカニカル継手(JCDA0012)を使用する。
 天井開口後は、毎回養生用ブラベニアで天井仮復旧させる。
 床養生は、毎回作業終了後、撤去とし、床清掃を行う。

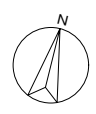
撤去凡例

////	: 撤去配管・機器を示す
—	: 配管・機器、既存のまま
— —	: 既存管切断を示す

改修後凡例

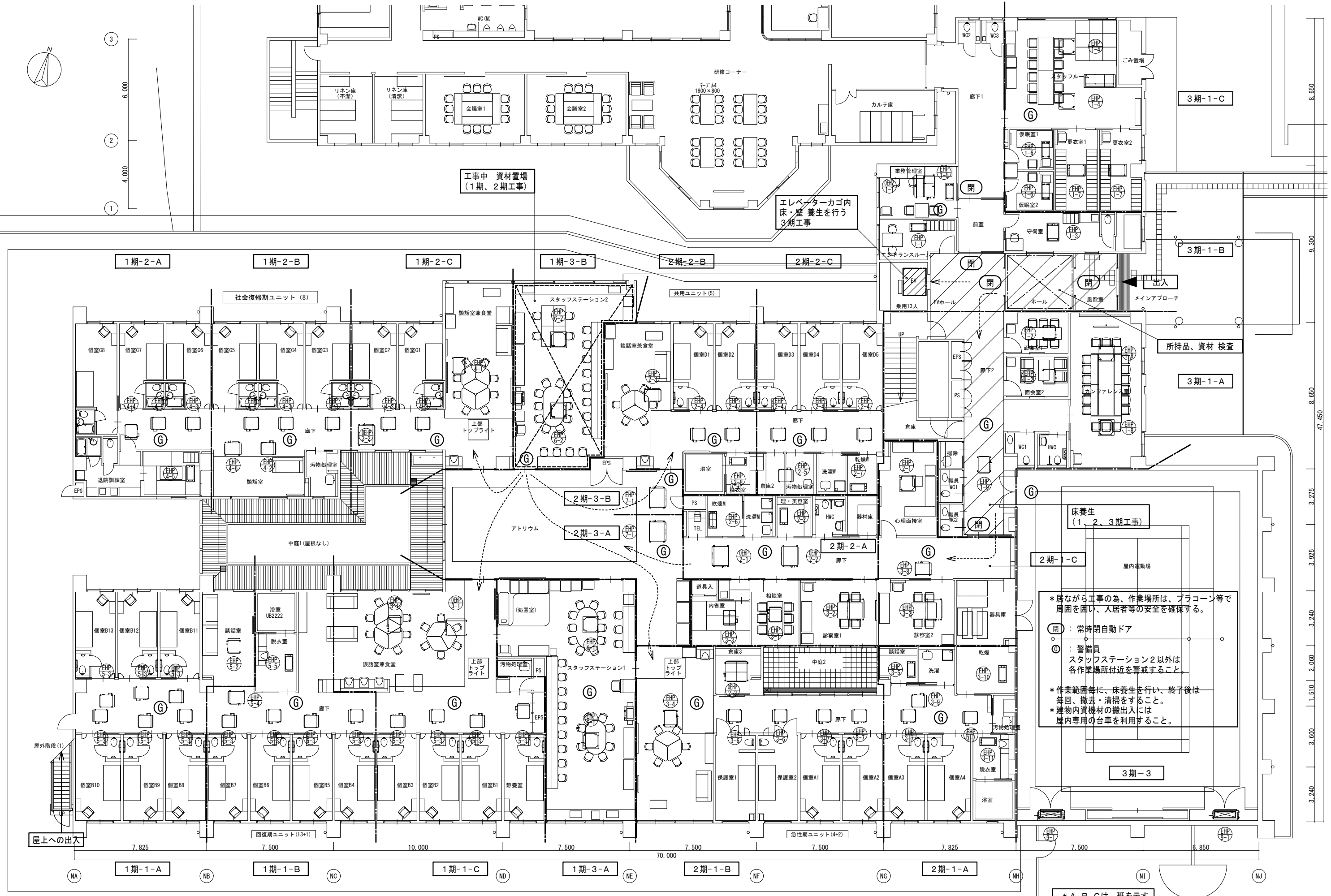
—	: 新設配管・機器を示す
-----	: 既存配管・機器を示す
----- -----	: 既存配管に接続を示す

摘要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事(1期工事)	設計図 天井下隠ぺい空調機 改修パターン図(2)	図面番号 縮尺 A 1:25 A 3:50	M - 25
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	---	--	-----------------------------	-----------------------------	--------



3
6,000
2
4,000
1

N11
N10
9,300
N9
8,650
47,450
N8
3,275
N7
3,925
N6
3,240
N5
2,060
N4
1,510
N3
3,600
N2
3,240
N1



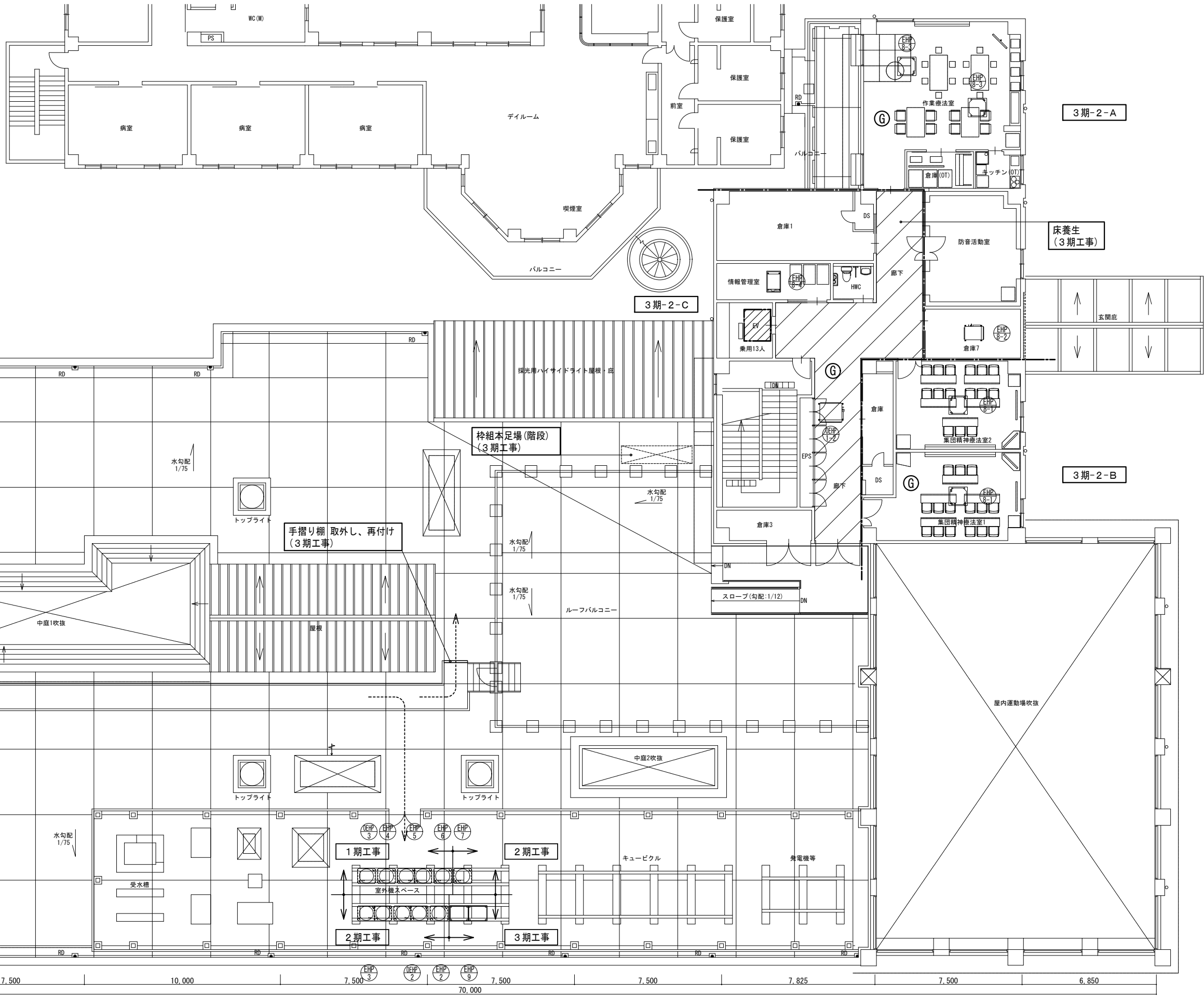
※居ながら工事の為、作業場所は、プラコン等で周囲を囲い、入居者等の安全を確保する。
 (閉) : 常時閉自動ドア
 (警) : 警備員
 スタッフステーション2以外は各作業場所付近を警戒すること
 ※作業範囲毎に、床養生を行い、終了後は毎回、撤去・清掃をすること。
 ※建物内資機材の搬入には、屋内専用の台車を利用すること。

* A, B, Cは、班を示す

概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限 クラフト設備設計 会社 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修設備工事(1期工事)	図面番号 M - 26
						図面名 1階 仮設計画図	縮尺 A 1 : 100 A 3 : 1 : 200	



③
6,000
②
4,000
①



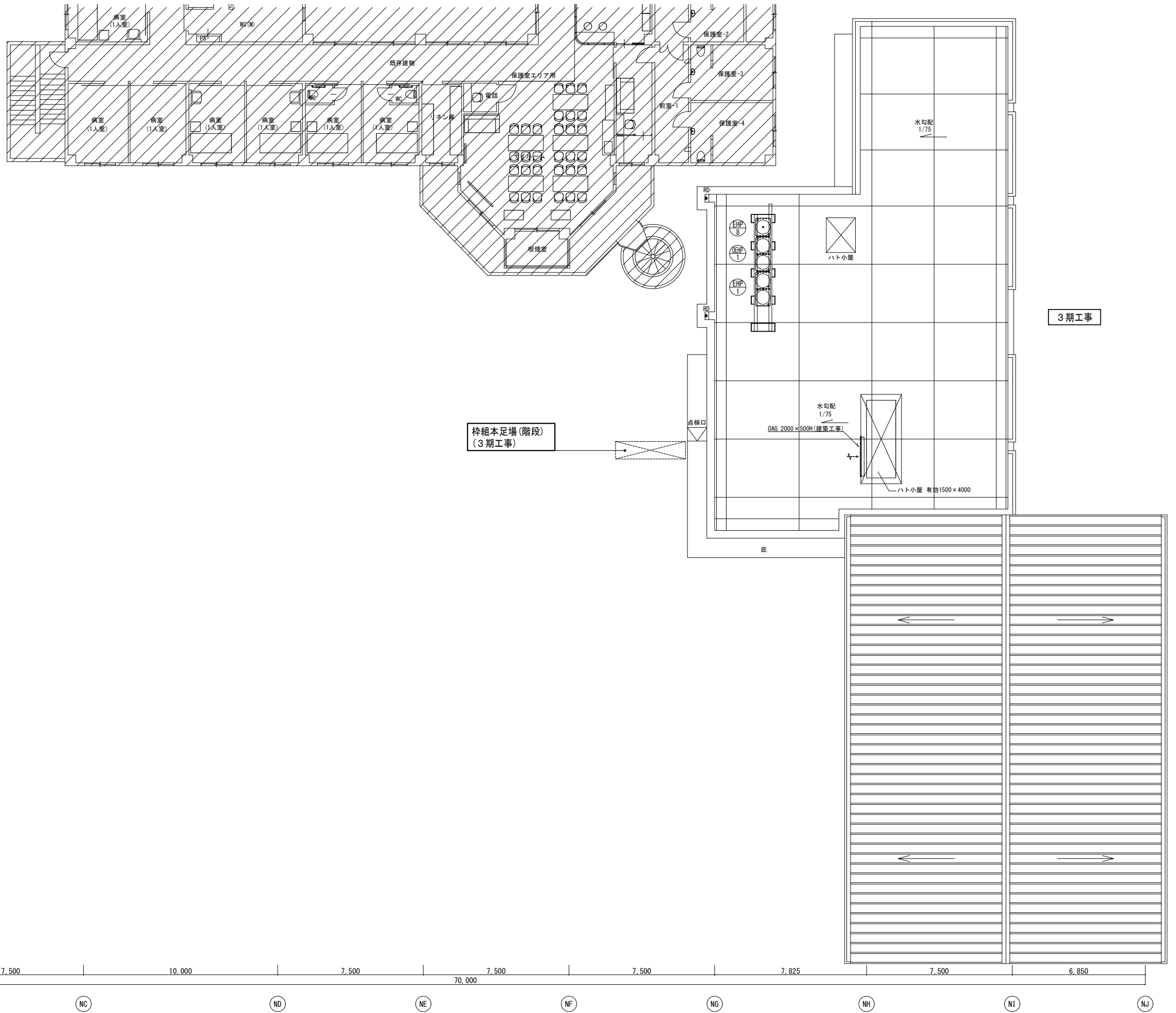
⑧
8,650
⑩
9,300
⑨
8,650
47,450
⑧
3,275
⑦
3,925
⑥
3,240
⑤
2,060
④
1,510
③
3,600
②
3,240
①

* A, B, Cは、班を示す

概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限 会社	クラフト設備設計	工事名称 精神医療センター第7病棟 (医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事 (1期工事)	図面番号 M - 27
						建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	図面名 2階 仮設計計画図	縮尺 A 1 : 100 A 3 1 : 200	



③
6.000
②
4.000
①



⑪
8.650
⑩
9.300
⑨
8.650
47.450
⑧
3.275
⑦
3.925
⑥
3.240
⑤
2.060
④
1.510
③
3.600
②
3.240
①

7.825 7.500 10.000 7.500 7.500 7.500 7.825 7.500 6.850

NA NB NC ND NE NF NG NH NI NJ

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限 会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 本高 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	精神医療センター第7病棟 (医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修機械設備工事 (1期工事)	設計図	図面番号
	R05年03月20日		栗木	栗木	佐藤 大谷		図面名	R階 仮設計画図	縮尺	A 1 1 : 100 A 3 1 : 200

電気設備工事特記仕様書

- 1 工事概要
1.1 工 事 名 23精神医療センター第7病棟 (医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修工事 (1期工事)
1.2 工事場所 北足立郡伊奈町小室818-2
1.3 工 期 契 約 日 から 令和 5年 12月 18日 まで
現場施工期間
1.4 工事科目 (○印の付いたものを適用する)

Table with 2 columns: 項目, 内容. Includes items like 電灯設備, 動力設備, 電熱設備, etc.

- 1.5 指定部分 ○無 ・有 (工 期 : 令和 年 月 日)
1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
1 専任期間の始期
請負契約締結の日から、(○現場施工に着手するまで (現場事務所)の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで)の期間 ・令和 年 月 日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
2 専任期間の終期
工事完成後、検査が終了し (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。) ・事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
3 専任期間の中断
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止している場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

1.7 建物概要
第7病棟 R C造 2階建て 延床面積2,487.29m2

1.8 工事概要
既存パッケージエアコンの更新工事に伴う、電気設備工事を行う。

- 1.9 同時期発注の関連工事 ・ 建築工事 ○ 機械設備工事

2 工事仕様

- 2.1 共通仕様
(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という。) ・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) ・ 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) ・ 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (以下「標準仕様書等」という。) 及び監督員の指示に従い施工する。
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、○印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。)

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Contains detailed specifications for materials, construction conditions, and safety.

- 12 金属電線管の塗装
露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。
また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。
ただし、見えかきり部の塗装については監督員の指示による。
壁等の隠は、既存壁及び別途工事の隠との整合を極力図るものとする。

- 13 鍵
(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

Table with 2 columns: 敷き均し土, 管 種 別. Lists materials like 硬質ビニル電線管 (VE), 耐衝撃性強化ビニル管 (HIVE), etc.

- (2) 地中電線路には、ケーブル埋設機及び保護シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の保護シートは図面特記による。
(3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面 (舗装する部分では路盤材下面) から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。

- 15 回路の種別 行先の表示
ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線、ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。

- 16 電線の接続
湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

- 17 電線管の接続
屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。

- 18 接地工事
漏電遮断器で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑・黄又は緑・色帯で区別する。

- 19 建設発生の処理
埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。・構外搬出適切処理する。

- 20 再生砂・再生アスコン
契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、・使用できる。 ※使用できない。
再生砂使用に先立ち、1購入あたり1機体の穴潰クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

- 21 耐震施工
設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修) を参考とする。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
(1) 設計用水平地震力
機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

Table for 設計用標準水平震度. Columns: 設置場所, 機器種別, 特定の施設 (重要機器, 一般機器), 一般の施設 (重要機器, 一般機器).

- 【備 考】(※1) : 水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
・配電盤 ・ 発電装置 (防災用) ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
・交換機 ・ 火災報知器受信機 ・ 中央監視装置 ・ 太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

- 2.2 あと施工アンカー
機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

- 2.3 はつり及びあと施工アンカー打設
既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。
電動ドリル等の刃が鉄質、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

- 2.4 改修部分の足場
本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
(1) 内部足場 ※ 脚立足場
(2) 外部足場 ※ A種 (枠組足場) ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種
※足場を設ける場合は、「『手すり先行工法等に関するガイドライン』について」(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基本」、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。
2.5 墜落制止用器具 (フルハーネス型)
※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン (平成30年6月22日付け基発0622第2号) による
・使用を要しない

- 2.6 アスベスト事前調査結果の報告
全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石棉障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。

- 2.7 電気保安技術者
(a) 受注者は、電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。
(b) 電気保安技術者は、次による者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料を監督員に提出して承諾を受ける。
(1) 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者、一級電気工事施工監理技士又はこれと同等の知識及び経験を有する者。
(2) 一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者。
(c) 電気保安技術者は、監理技術者、主任技術者、現場代理人が兼任できる。
(d) 電気保安技術者は、監督員の指示に従い、電気工作物の保安業務を行う。
(e) 電気主任技術者を別途配置している電気工作物に係る工事においては、電気主任技術者及び監督員と協議し保安業務に支障がないよう努める。

- 2.8 工事用電力設備の保安責任者
(a) 受注者は、工事用電力設備の保安責任者として、関係法令に基づき、有資格者を定め、監督員に報告する。
(b) 保安責任者は、前項2.5の電気保安技術者が兼任できる。
(c) 保安責任者は、適切な保安業務を行う。
2.9 その他
(1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえ施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作物を監督員に提出し、承諾後製作する。
(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
(4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
(5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
(6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
(7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。
(8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
(9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
(10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

- 2.8 工事用電力設備の保安責任者
(a) 受注者は、工事用電力設備の保安責任者として、関係法令に基づき、有資格者を定め、監督員に報告する。
(b) 保安責任者は、前項2.5の電気保安技術者が兼任できる。
(c) 保安責任者は、適切な保安業務を行う。

- 2.9 その他
(1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえ施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作物を監督員に提出し、承諾後製作する。
(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
(4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
(5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
(6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
(7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。
(8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
(9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
(10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

- 2.3 工事別一般事項 (特記事項選択項目は、○印のついたものを適用する)

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Contains detailed specifications for electrical equipment like 電灯設備, 動力設備, etc.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Contains specifications for 発電設備, 構内交換設備, etc.

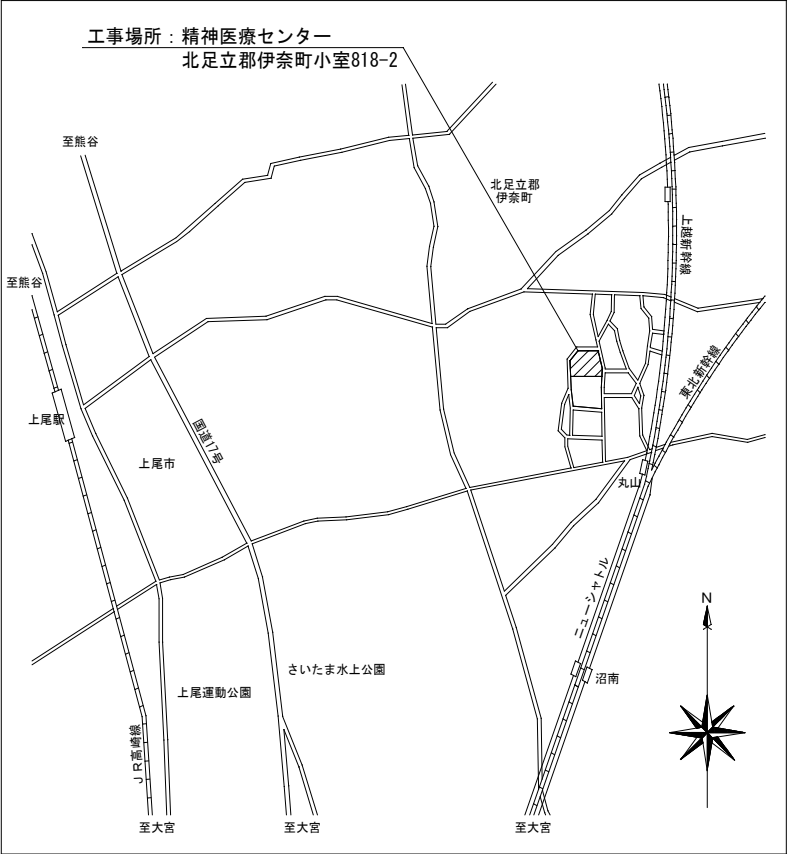
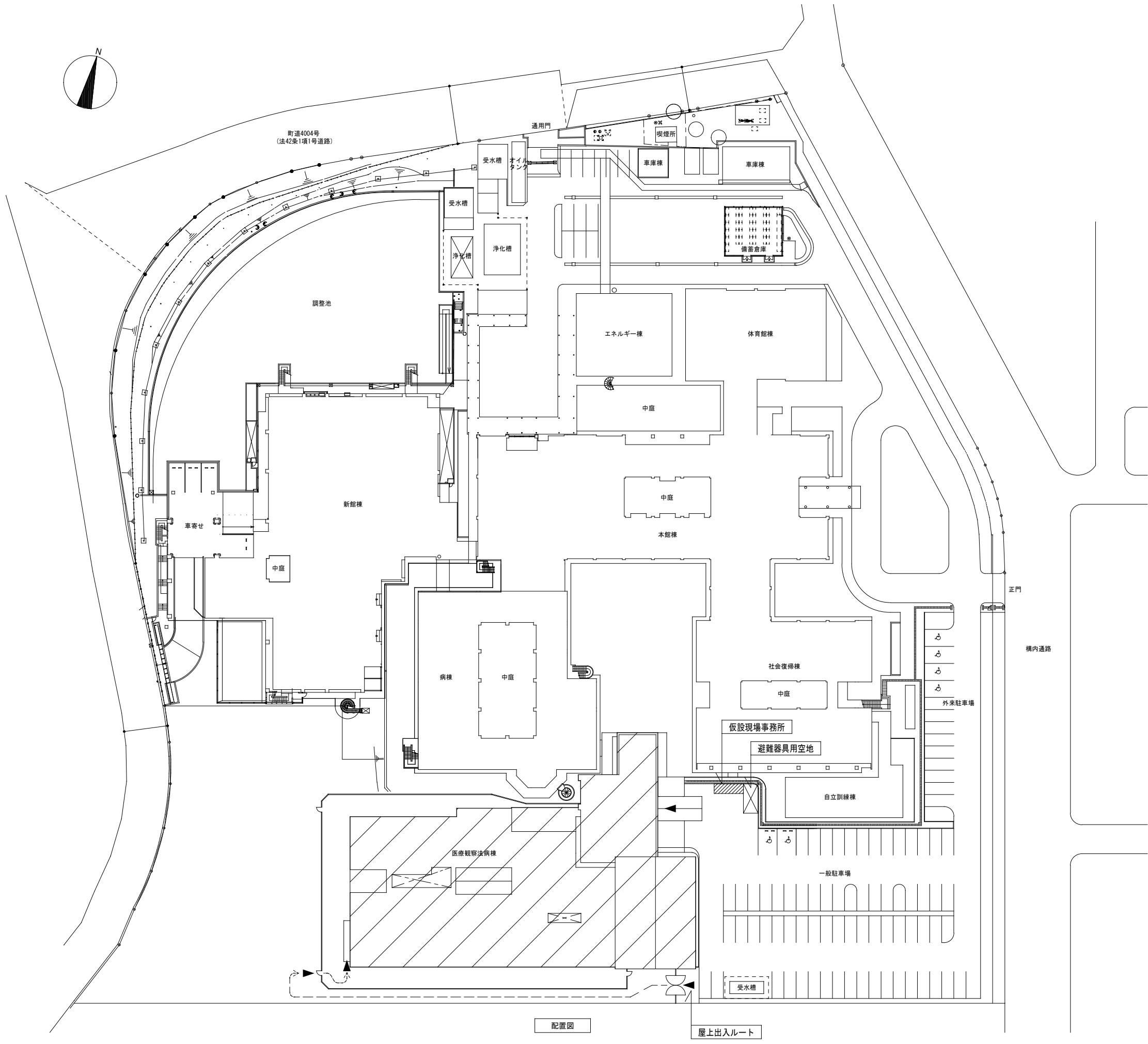
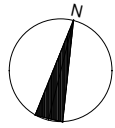
- 2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

Table for 取付高さ. Columns: 名称, 測 点, 取付高さ (mm) (一般, 県営住宅).

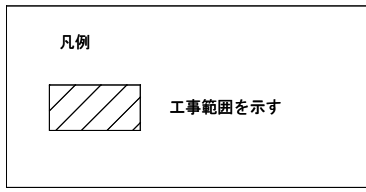
3 その他

- 3.1 他工事との取合区分
発注図又は工事区分表による。
3.2 図面上の縮尺
図面上の縮尺は、JIS A1版とし縮尺とする。
3.3 疑義
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

Table with 4 columns: 設計年月日, 地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部, 本部長 管理幹 主幹 主査 担当, 縮尺 NS, 工事名称 23精神医療センター第7病棟 (医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備改修工事 (1期工事), 図名 電気設備工事特記仕様書, 図面番号 E-01



案内図



* 作業員用駐車場は、打合わせによる

概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限 クラフト 設備設計 倉庫 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町 3番地 TEL 048-521-6300 本高 〒370-0862 高崎市片岡町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備電気設備改修工事(1期工事) 設計図 図面名 案内・配置図 縮尺 A 1 1 : 400 A 3 1 : 800	図面番号 E - 02
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--	---	-------------

電気設備工事概要

1 屋外機電源

更新する屋外機の電源ケーブルは、既存動力分電盤(RM-1,2LM-1)以降撤去、更新とする
 なお、屋外露出配管も撤去、更新とする
 EHP-7,EHP-9においては、機械設備工事において移設が必要でありそれに伴い、電源接続替えが必要になる
 その際は、既存電源ケーブルを再利用とする

2 既存動力分電盤(RM-1,2LM-1)

想定更新機器の仕様に基づき、漏電ブレーカーを更新することとしてある
 なお、ブレーカー選定は、納品される屋外機の仕様書により最終確認を行い、更新すること

3 屋内機接続替え

以下の屋内機は、電源接続位置が変わるため、電源ケーブルEM-EEF2.0-3C(1Cアース)を新設樹脂ボックス内にて結線、延長、新設機器に接続させる

記号	型番	数量			電源接続位置
		1期工事	2期工事	3期工事	
EHP-1-2	22			2	左右逆
EHP-2-4	22		5		↑
EHP-2-5	28		1		↑
EHP-3-1	22		1		↑
EHP-3-2	36		2		↑
EHP-3-3	22		1		↑
EHP-3-6	28		2		↑
EHP-3-7	22		4		↑
EHP-3-9	36		1		↑
EHP-4-2	36	1			↑
EHP-4-3	22	7			↑
EHP-4-4	28	1			↑
EHP-5-2	36	1			↑
EHP-5-3	22	14			↑
	計	24	17	2	

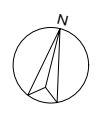
これ以外の屋内機は、更新後、新設機器に接続替とする

既存動力分電盤 RM-1

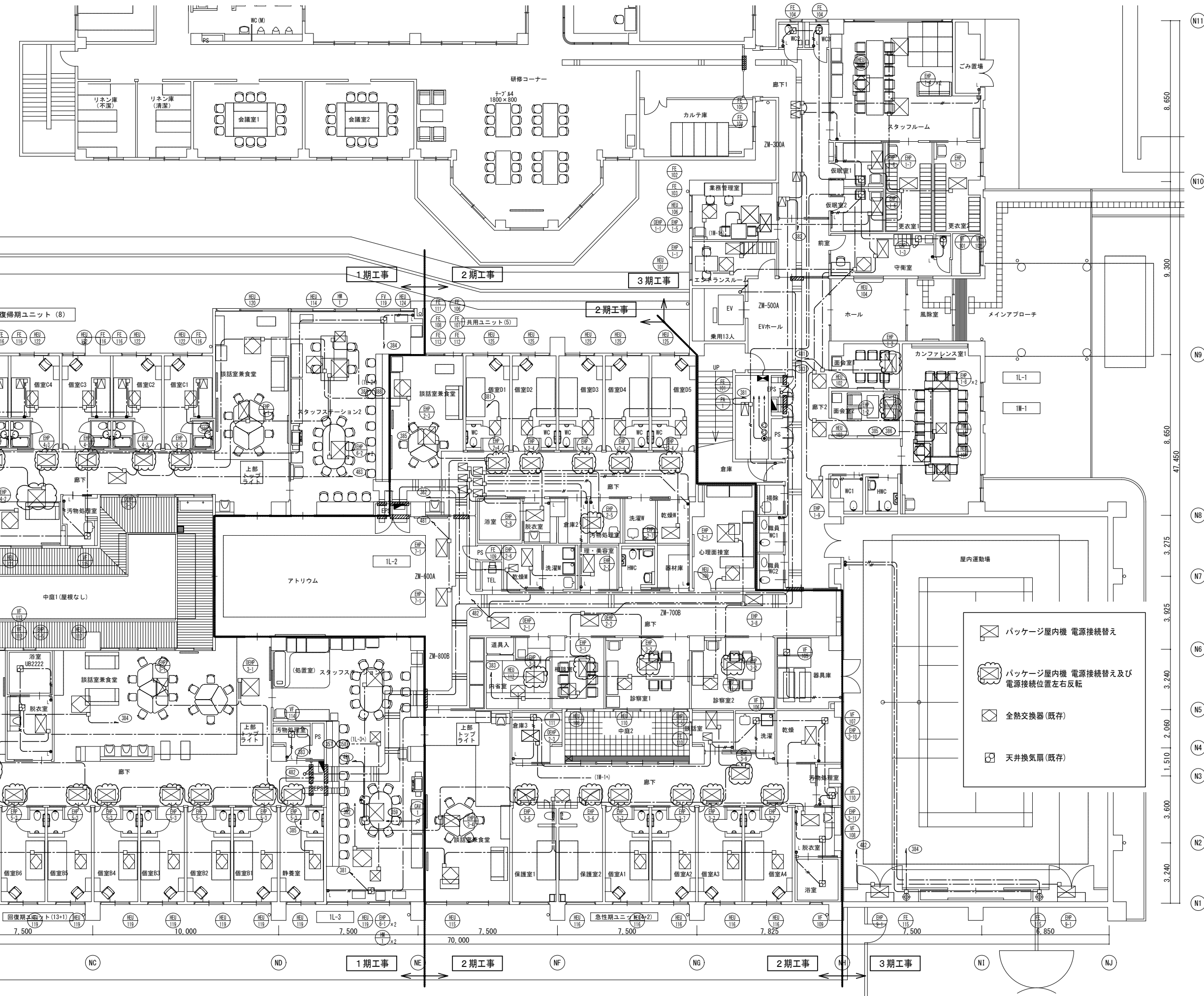
パッケージエアコン		1期工事	2期工事	3期工事	既存、撤去				新設				
記号	参考型番				開閉器	ケーブル	電線管	可とう管	開閉器	ケーブル	電線管	可とう管	天井内
OEHP-3	PUHY-RP280DMG9	○			ELB3P50/50	CE8□-3C.IE5.5□	G28	F2-30	ELB3P50/50	CE14□-4C	G36	F2-38	-
EHP-4	PUHY-RP400DMG9-E	○			ELB3P100/60	CET14□.IE8□	G36	F2-38	ELB3P100/75	CET22□.IE5.5□	G54	F2-63	-
EHP-5	PUHY-RP450DMG9-E	○			ELB3P100/75	CET22□.IE8□	G36	F2-38	ELB3P100/60	CET22□.IE5.5□	G54	F2-63	-
EHP-5	-	○							子機渡り	CE8□-4C	G36	F2-38	-
EHP-6	PUHY-RP224DMG9	○			ELB3P50/40	CE5.5□-4C	G28	F2-30	ELB3P50/40	CE8□-4C	G36	F2-38	-
EHP-7(移設)	-	○				CE5.5□-4C	G28	F2-30		再利用			-
EHP-7(更新)	PUHY-RP224DMG9		○		ELB3P50/40	CE5.5□-4C	G28	F2-30	ELB3P50/40	CE8□-4C	G36	F2-38	-
EHP-3	PUHY-RP450DMG9-E		○		ELB3P100/75	CET22□.IE8□	G36	F2-38	ELB3P100/60	CET22□.IE5.5□	G54	F2-63	-
EHP-3	-		○						子機渡り	CE8□-4C	G36	F2-38	-
OEHP-2	PUHY-RP500DMG9		○		ELB3P100/75	CET22□.IE8□	G36	F2-38	ELB3P100/75	CET38□.IE5.5□	G54	F2-63	-
OEHP-2	-		○						子機渡り	CE8□-4C	G36	F2-38	-
EHP-2	PUHY-RP280DMG9		○		ELB3P50/50	CE8□-3C.IE5.5□	G28	F2-30	ELB3P50/50	CE14□-3C.IE3.5□	G36	F2-38	-
EHP-9(移設)	-		○			CET22□.IE8□	G36	F2-38		再利用			-
EHP-9(更新)	RQYP560FC			○	ELB3P100/100	CET22□.IE8□	G36	F2-38	ELB3P100/100	CET38□.IE5.5□	G54	F2-63	-

既存動力分電盤 2LM-1

パッケージエアコン		1期工事	2期工事	3期工事	既存、撤去				新設					
記号	参考型番				開閉器	ケーブル	電線管	可とう管	開閉器	ケーブル	電線管	可とう管	天井内	
EHP-8	PUHY-RP280DMG9			○	ELB3P50/50	CE8□-4C	G28	F2-30	ELB3P50/50	CE14□-4C	G36	E39	F2-38	転がし
OEHP-1	PUHY-RP450DMG9-E			○	ELB3P100/75	CE14□-4C	G28	F2-30	ELB3P100/60	CE22□-4C	G42	E51	F2-50	転がし
OEHP-1	-			○					子機渡り	CE8□-4C	G36		F2-38	-
EHP-1	PUHY-RP450DMG9-E			○	ELB3P100/75	CE14□-4C	G28	F2-30	ELB3P100/60	CE22□-4C	G42	E51	F2-50	転がし
EHP-1	-			○					子機渡り	CE8□-4C	G36		F2-38	-



3
6,000
2
4,000
1



N11
N10
9,300
N9
8,650
47,450
N8
3,275
N7
3,925
N6
3,240
N5
2,060
N4
3,600
N3
1,510
N2
3,240
N1

- パッケージ屋内機 電源接続替え
- パッケージ屋内機 電源接続替え及び電源接続位置左右反転
- 全熱交換器(既存)
- 天井換気扇(既存)

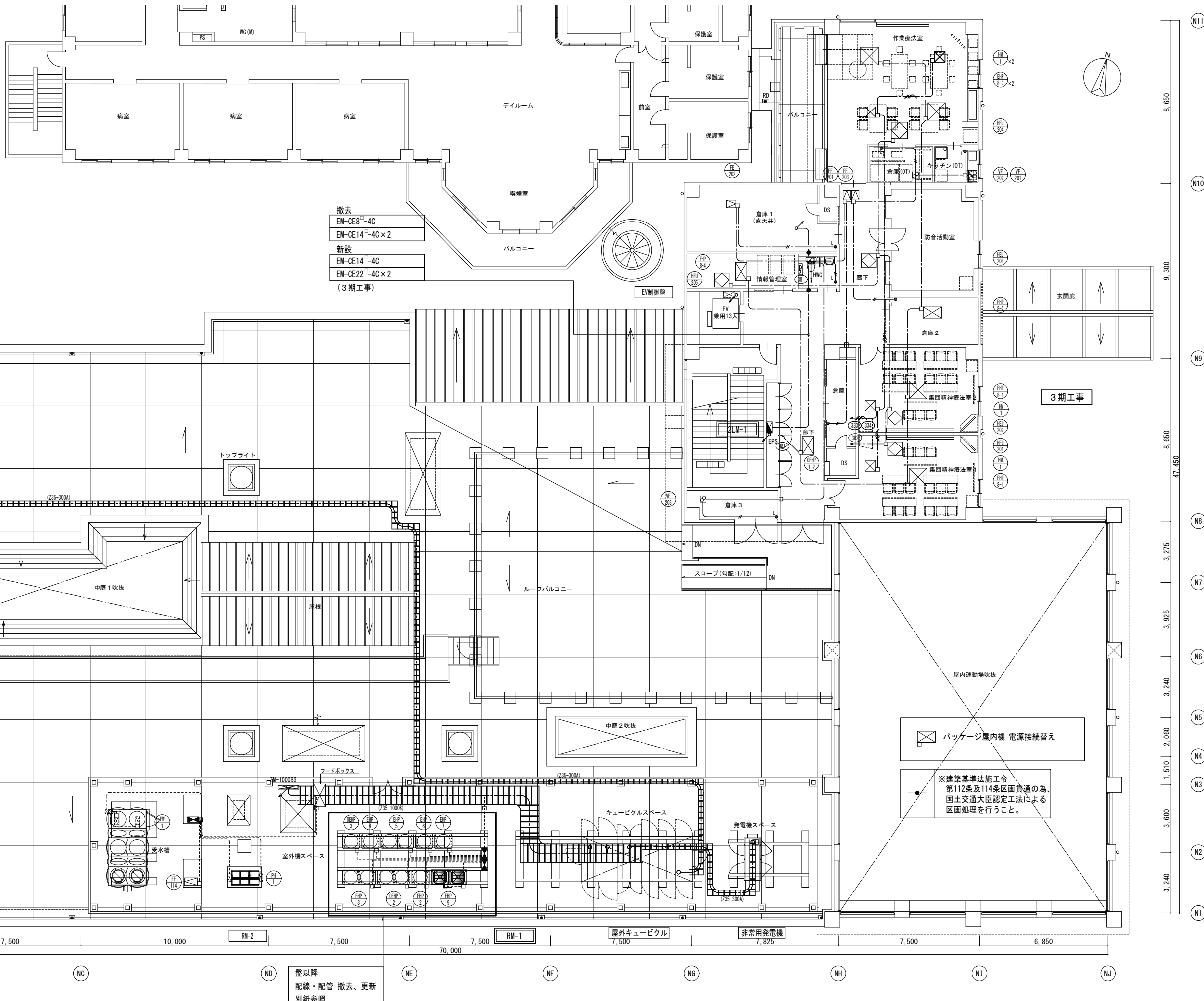
概要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限 クラフト 設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備電気設備改修工事(1期工事)	図面番号	設計図 E-04
	R05年03月20日		栗木	栗木	佐藤		大谷	図面名	1階 空調電源設備図(現況)	縮尺

凡例

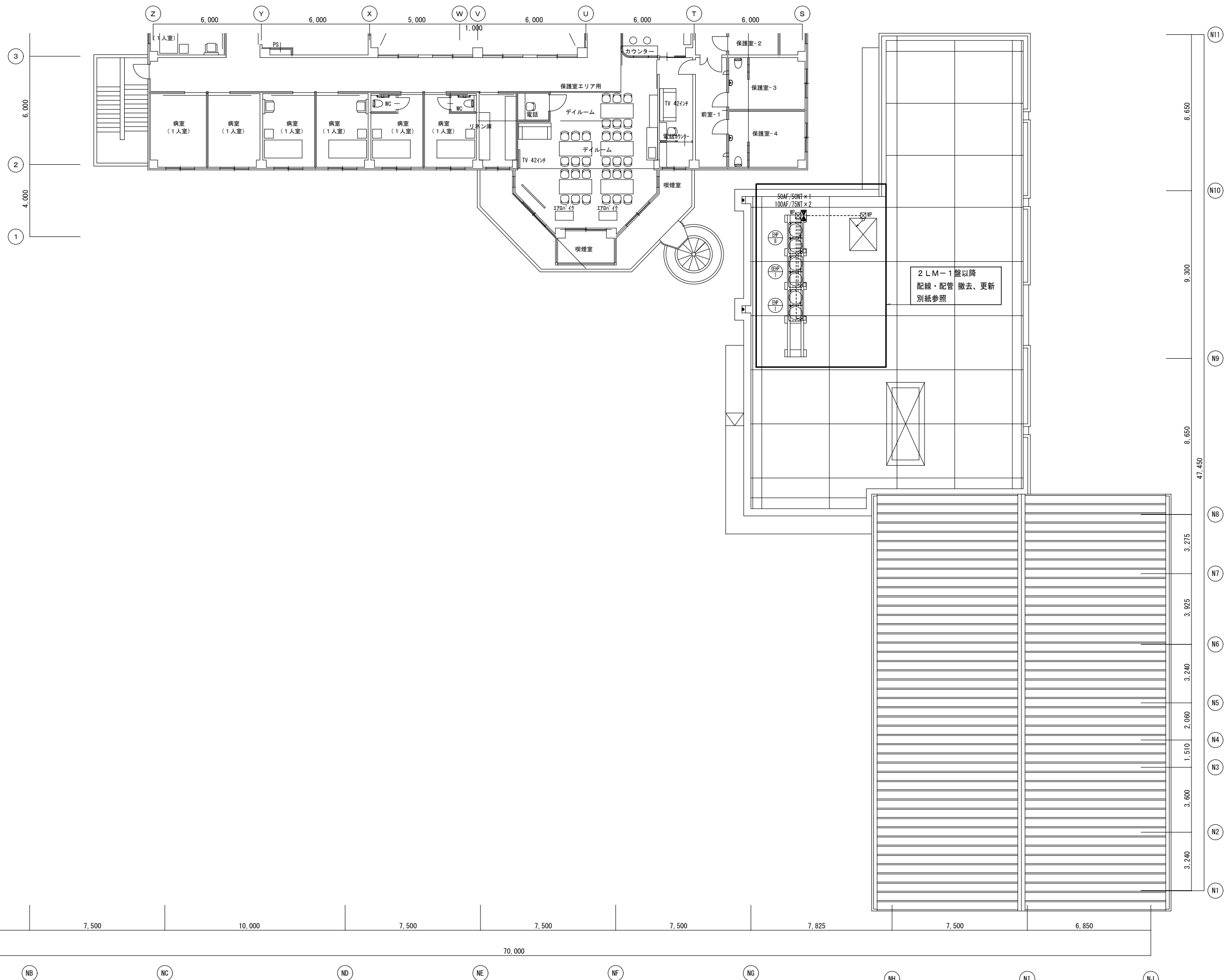
記号	名称	備考
■	分電盤	既存
■	動力盤	既存
□	空調機	更新
□	全熱交換器	既存
□	排気ファン	既存
□	換気扇	既存
○	ポンプ	既存
●	埋込スイッチ 1P15A (確認表示灯付)	既存
○	フロートスイッチ	
—	ケーブルラック Z35-300A (カバー付)	既存
—	ケーブルラック Z35-1000B (カバー付)	既存
□	プルボックス	WP・SUS製

注記 (現況)

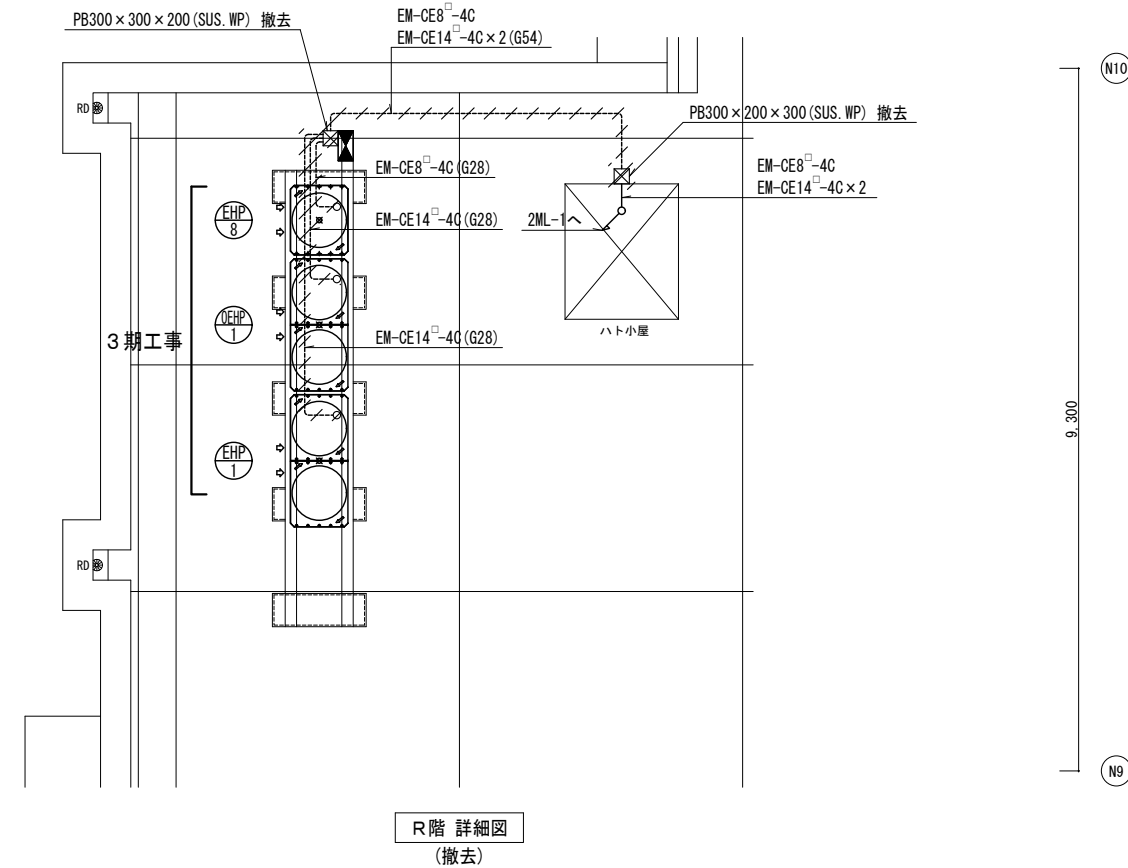
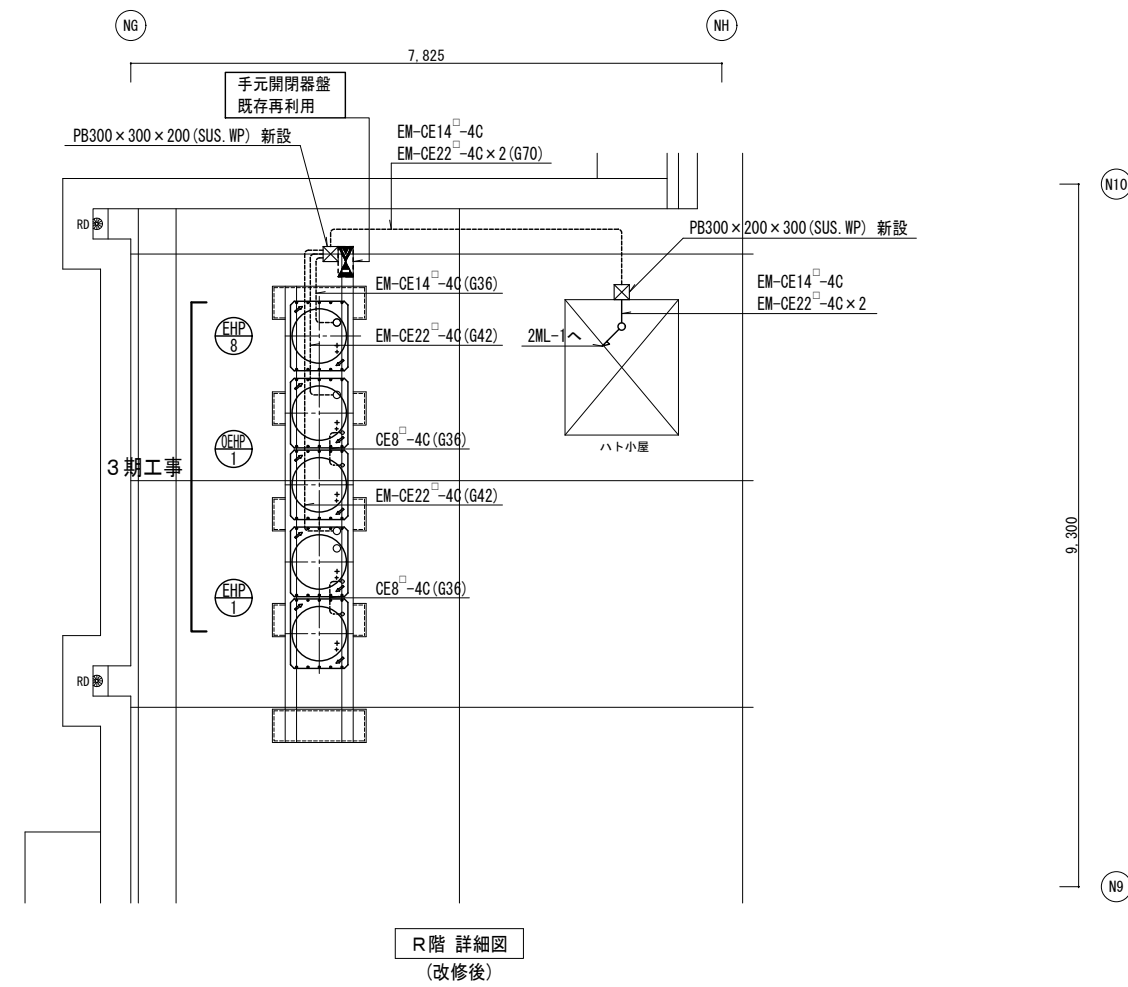
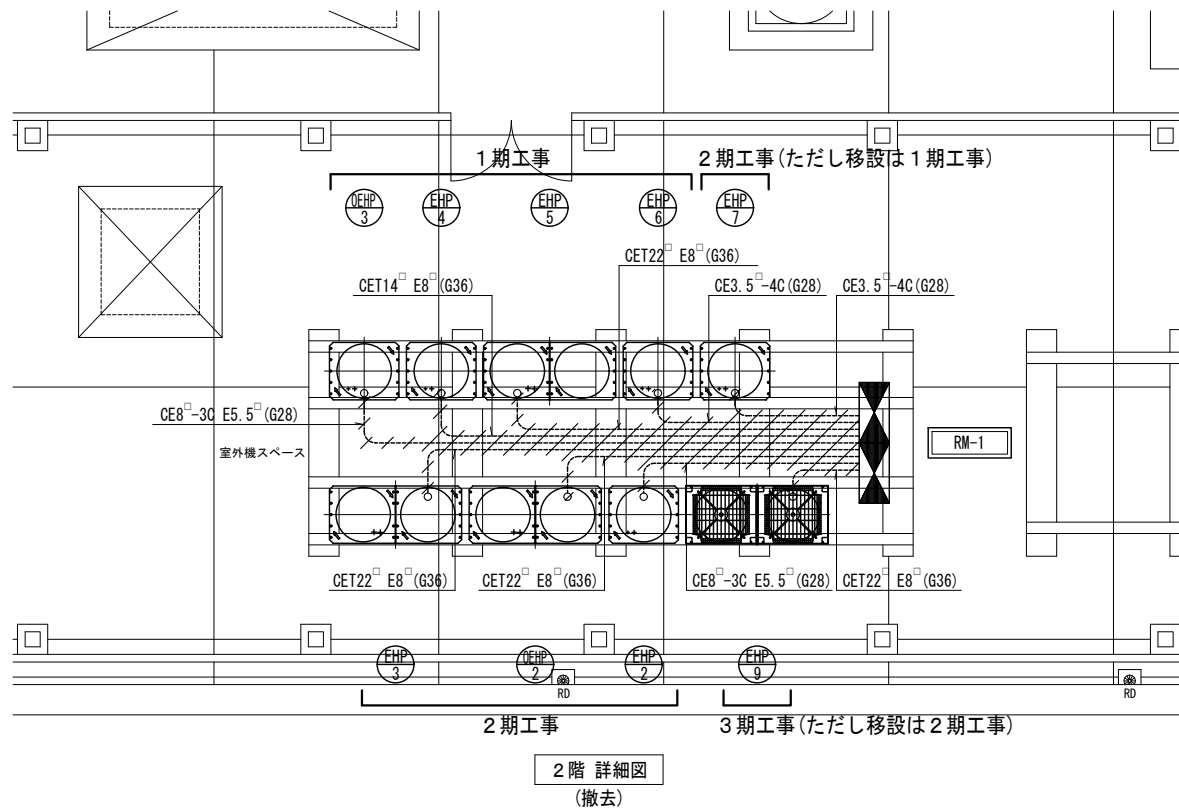
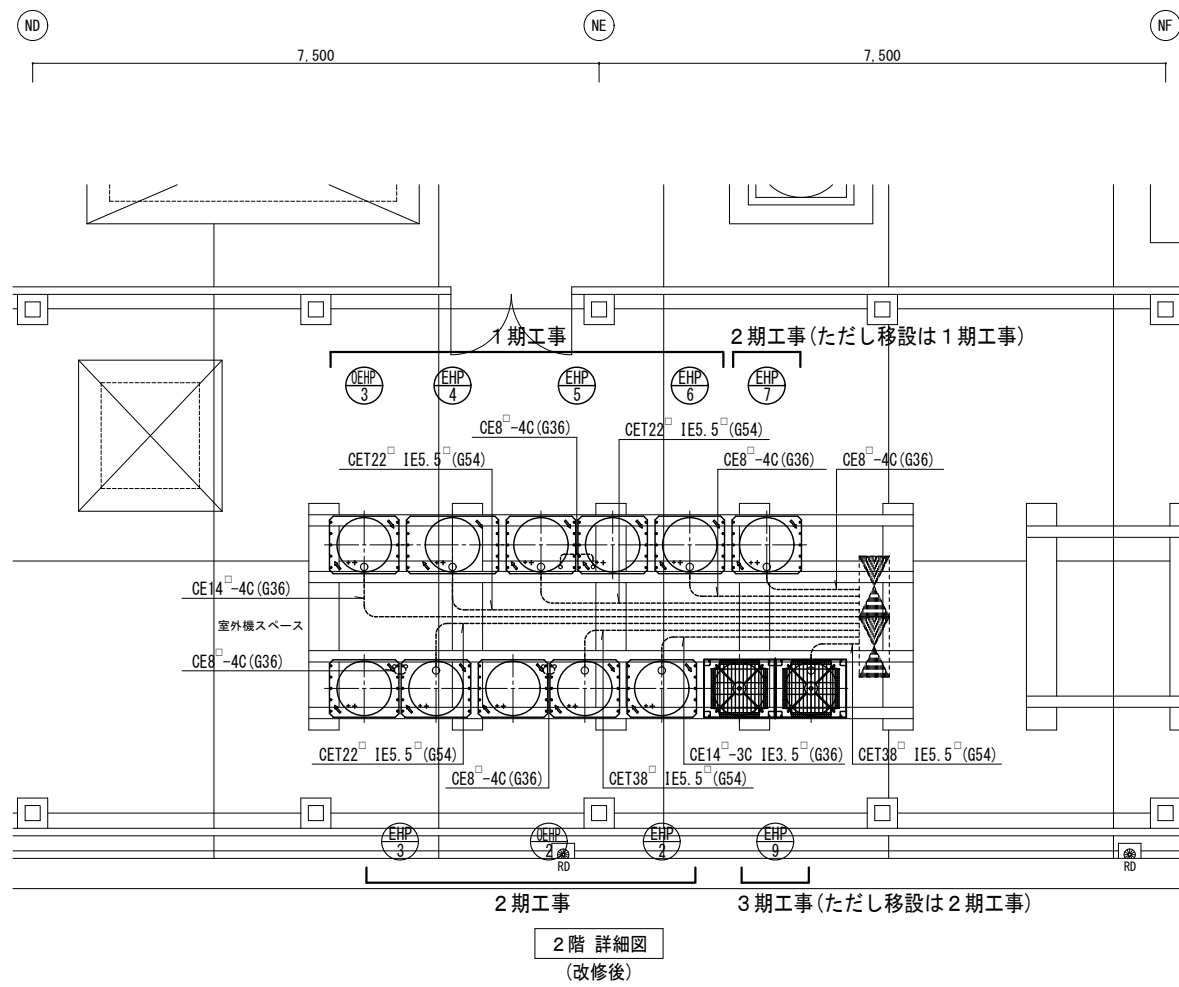
- 特記なき配管配線は下記による。
 — EM-EEF2.0-3C (10Aース) ころがし
 — EM-EEF2.0-2C ころがし
 — EM-CE3.5-4C (10Aース) ころがし
 ただし、壁立ち上げ部及び壁貫通部は、電線管にて保護すること。
- 配管配線にて防火区画及び防火上主要間仕切りを貫通する場合は、区画処理 (大臣認定工法) を行うこと。



概要	設計年月日 R05年03月20日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟 (医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備電気設備改修工事 (1期工事)	図面番号 E - 05
						図面名 2階 空調電源設備図 (現況)	縮尺 A 1 : 100 A 3 : 1 : 200	



概要 設計年月日 R05年03月20日	変更年月日 照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限 会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 本高 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟 (医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備電気設備改修工事 (1期工事)	図面番号 E - 06 縮尺 A 1 1 : 100 A 3 1 : 200
---------------------------	-------------------	----------	----------------	---	--	--



概要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター第7病棟(医療観察法病棟) ヒートポンプ型空調設備電気設備改修工事(1期工事) 設計図 図面名 2、R階 空調電源設備 屋上詳細図(改修後、撤去) 縮尺 A 1 1 : 50 A 3 1 : 100	図面番号 E - 07
	R05年03月20日		栗木	栗木	佐藤 大谷			



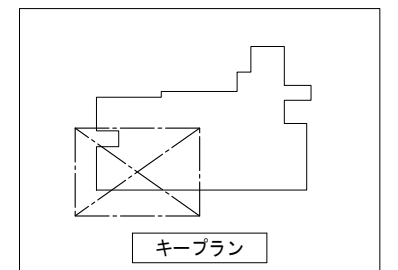
凡例	
記号	天井仕上
(A)	石こうボードt9.5下地 + 岩綿吸音板t12.0
(B)	石こうボードt9.5下地 + 岩綿吸音板t12.0 (立体模様)
(C)	無石棉カイカル板t6.0目透し + EP塗り
(D)	化粧石こうボードt12.5 (木目模様)
(E)	石こうボードt9.5下地 + 化粧無石棉カイカル板t6.0
(F)	石こうボードt9.5下地 + ビニルクロス貼り
(G)	化粧石こうボードt9.5

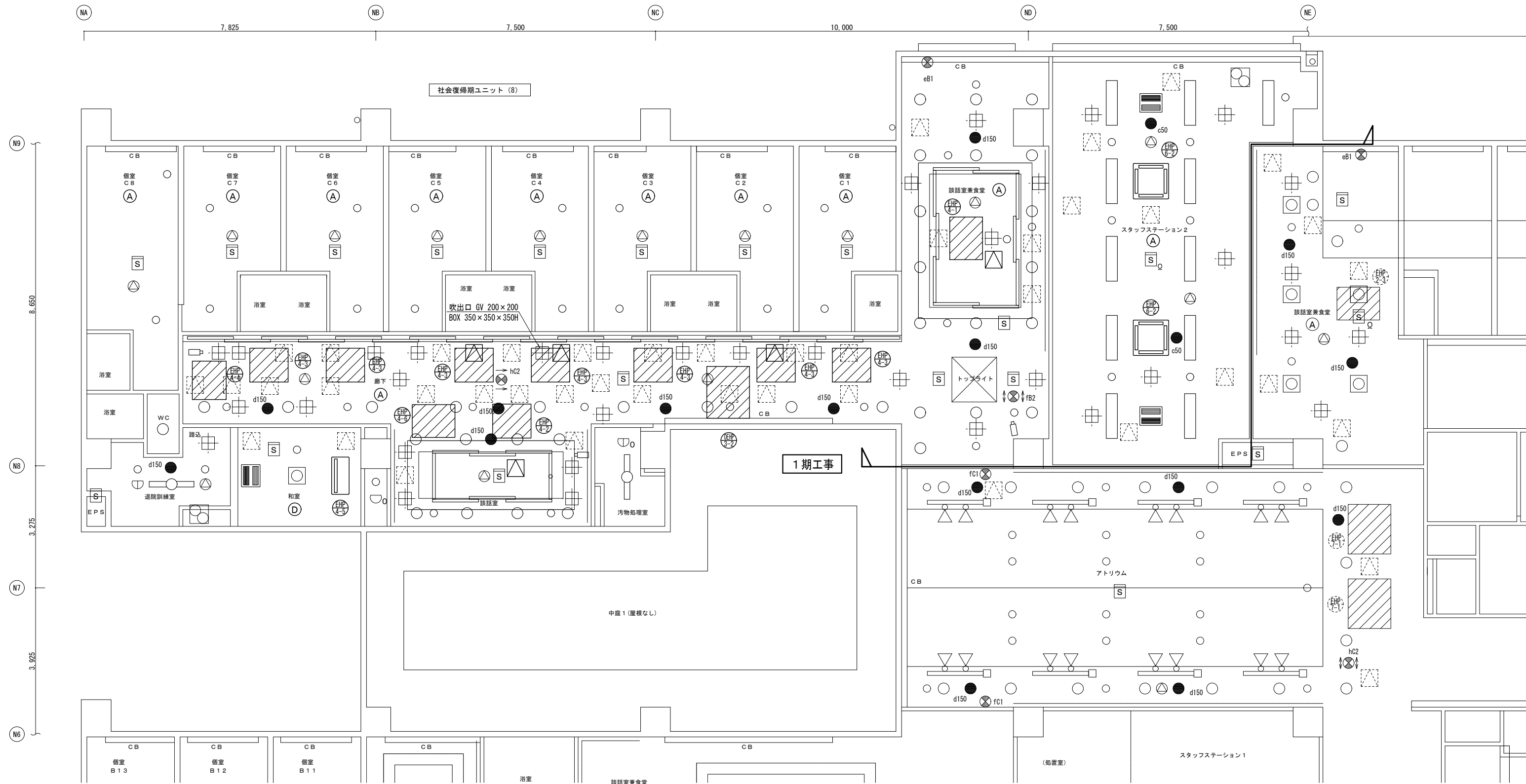
記号	名称	備考	記号	名称	備考
○	HF32W×1		□	ITVカメラ	ドーム型
□	HF32W×2		○	スプリンクラーヘッド	高感度型1種 72°C
□	HF32W×4		⊕	既存 吸込口、吹出口	
○	LEDダウンライト 100W相当		⊗	既存 天井換気扇	
●	誘導灯		□	既存 天井点検口	450×450(鍵付)
●	非常照明 75W相当		□	新設 天井点検口	450×450(鍵付)(機)
△	天井スピーカー		▨	天井改修範囲	軽天下地とも(機)
⊠	煙感知器				
▽	熱感知器				

1期工事

※ 天井改修範囲内にある器具は
取外し→仮取付→取外し→再取付とする
※ 天井改修範囲内にある天井点検口は
取外し、再取付とする(機)
※ 天井開口後は、毎回養生用ブラベニアで
天井修復旧させる。(機)

(機) = 機械設備工事





凡例	
記号	天井仕上
(A)	石こうボードt9.5下地 + 岩綿吸音板t12.0
(B)	石こうボードt9.5下地 + 岩綿吸音板t12.0 (立体模様)
(C)	無石棉ケイカル板t6.0目透し + EP塗り
(D)	化粧石こうボードt12.5 (木目模様)
(E)	石こうボードt9.5下地 + 化粧無石棉ケイカル板t6.0
(F)	石こうボードt9.5下地 + ビニルクロス貼り
(G)	化粧石こうボードt9.5

記号	名称	備考	記号	名称	備考
HF32W×1	HF32W×1		ITVカメラ	ドーム型	
HF32W×2	HF32W×2		スプリンクラーヘッド	高感度型1種 72°C	
HF32W×4	HF32W×4		既存 吸込口、吹出口		
LEDダウンライト	LEDダウンライト 100W相当		既存 天井換気扇		
誘導灯	誘導灯		既存 天井点検口	450×450(鍵付)	
非常照明	非常照明 75W相当		新設 天井点検口	450×450(鍵付)(機)	
天井スピーカー	天井スピーカー		天井改修範囲	軽天下地とも(機)	
煙感知器	煙感知器				
熱感知器	熱感知器				

※ 天井改修範囲内にある器具は
 取外し→仮取付→取外し→再取付とする
 ※ 天井改修範囲内にある天井点検口は
 取外し、再取付とする(機)
 ※ 天井開口後は、毎回養生用プラベニアで
 天井復旧させる。(機)
 (機) = 機械設備工事

